

令和元年度 業務実績報告書

令和2年6月



地方独立行政法人

岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日

(4) 役員の状況 平成31年4月1日現在

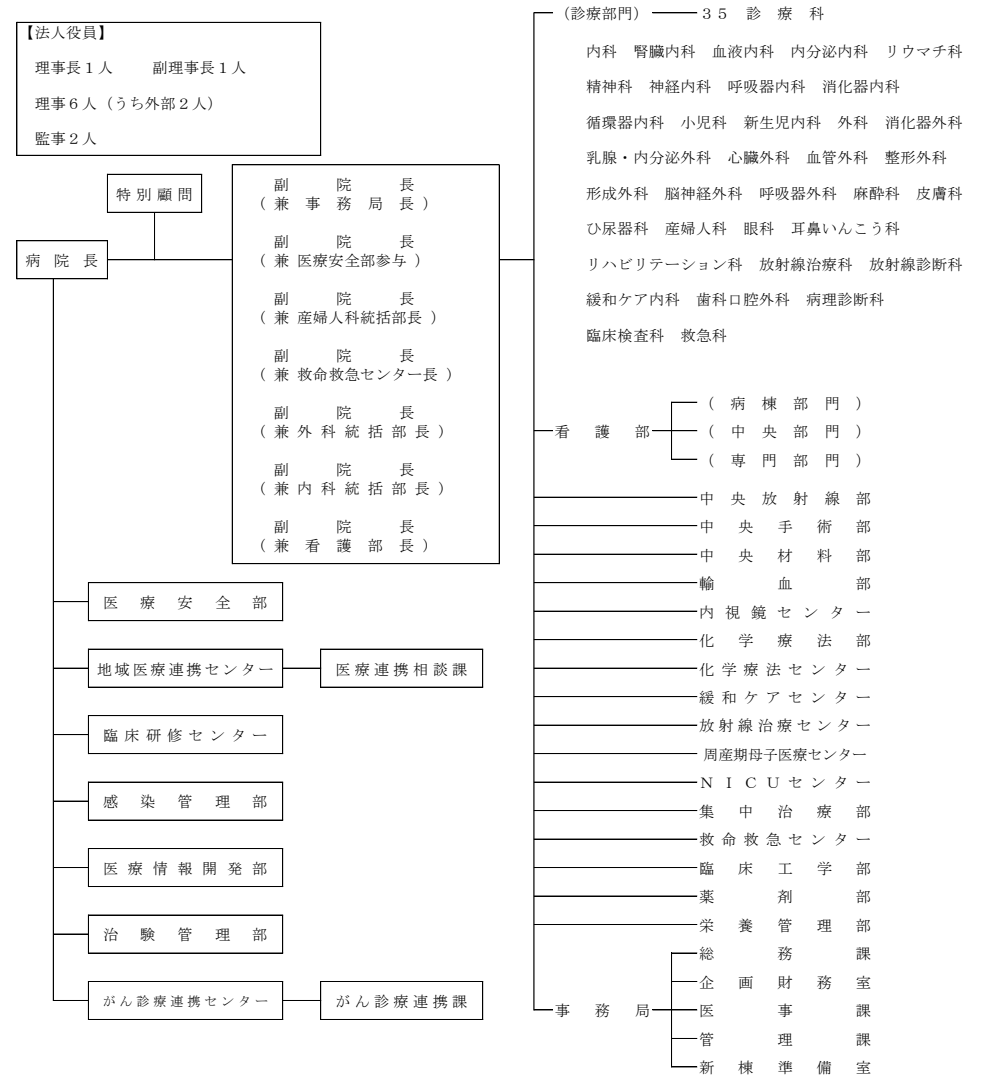
	氏 名	役 職
理事長	近藤 泰三	院 長
副理事長	松葉 英之	副院長兼事務局長
理事	上田 幸夫	副院長兼医療安全部参与
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科統括部長
理事	伊藤 淳樹	副院長兼救命救急センター長
理事	東 智美	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ㈱代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

(5) 職員数(平成31年4月1日現在) 単位：人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	133	26	159
看護師	520	119	639
コメディカル	184	14	198
事務等	66	180	246
合計	903	339	1,242

(6) 組織図

平成31年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、高精度放射線治療システムの導入、経常収支比率100%の初年度からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる令和7年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を、平成30年6月に基本設計を策定した。今後、実施設計、本体建設と令和5年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5.0）の認定取得
平成18年	1月	電子カルデシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.6.0）の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
〃	11月	病床数を575床へ変更（一般病床52床廃止）
平成29年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:ver1.1）の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設
令和2年	4月	病床数を570床へ変更（一般病床1床・精神科病床4床廃止）

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救命救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	570床 （一般509床：結核13床：精神42床：感染症6床）
年間延べ患者数 （令和元年度）	入院 : 165,889人 外来 : 273,058人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、将来予測等を踏まえながら、新中央診療棟の整備、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、新医療総合情報システム（電子カルテ）の稼働、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上については、相談員の増員やスキルアップに努め、より多くの相談に対応する体制を整えた。

患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、医療をめぐる状況と病院の方向性等についての意見交換をした。

患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q I プロジェクト参加病院の中で高い満足度を得ることができた。

診療体制の充実については、開業医への訪問活動、健康づくり講座の開催など地域医療連携センターが中心となって地域の医療ニーズを聴取し、連携予約体制や地域連携パスの運用方法の検討等を行った。

地域医療支援病院として、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化により、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率73.4%、逆紹介率101.2%）

がん医療においては、高精度放射線治療装置の2台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高い放射線治療を提供した。また、周産期医療においては、東濃4市及び可茂消防本部に配置した搬送用保育器による迅速な新生児救急搬送が定着した他、救命救急医療、精神科医療、感染症医療などの政策医療、地域に不足している医療や県民が必要とする医療を提供するための取組みを積極的に推進した。

1-2 調査研究事業

診療情報・統計担当を新設し、診療に関する情報を分析・集計、一元的に管理し、必要な情報が適時に提供できる体制を整えた。集計結果等は一元管理し、経営改善への指標となる数値は、職員へ随時情報提供できる仕組みを構築した。

診療報酬委員会・外部専門家からの助言を受けながら、機能評価係数の向上を進め、提供する医療の質の向上等を図った結果、令和2年度、DPC特定病院群に位置付けられた。

電子カルテシステムの更新を機に、国が研究を進めるPHR（Personal Health Record：健康・医療・介護データを本人に還元する考え方）の方針に従い、全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究事業（千年カルテプロジェクト）に参画した。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

内科領域及び外科領域においては、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で3名、外科領域で2名を採用した。また、専攻医の研修の充実のため、名古屋大学を基幹施設とした研修プログラムとの連携を図った。

医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1-4 地域支援事業

国民健康保険上矢作病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査、地域イベントに協力した。

地域医療機関や地域住民に対して、病院が保有する保健医療情報を提供するため、市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。

1-5 災害等発生時における医療救護

災害医療実働訓練を実施し、平成30年度に策定した診療継続計画書（BCP）の検証を行うとともに、災害時等の職員の状況把握や連絡を容易に行うことができる緊急連絡配信システムを導入し、被災時における病院機能維持のための体制の確立に努めた。

また、電気室への水の流入を防ぐための遮水壁を設置し、災害拠点病院として医療を継続するために、河川水位上昇を想定した対策を実施した。

診療情報のバックアップシステムについては、電子カルテシステムの更新に合わせ、医療現場において専用端末のみで患者情報が得られるよう、SS-MIXの情報が閲覧できるシステムを構築し、令和2年度より実施する準備を行った。

令和2年2月には、新型コロナウイルス感染に伴うダイヤモンドプリンセス号下船者の検疫活動支援にDMATを派遣した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

職員のワークライフバランスや各種ハラスメント等に対する相談機能を強化するため職員相談室を設置、新中央診療棟整備に伴う診療業務の移行や医療機器の整備等を円滑に実施するために新棟準備室を設置、また、診療に関する情報を分析・集計し、一元的に管理するための診療情報・分析担当を配置し、組織・業務体制の見直しを行った。

IT化の推進においては、新医療総合情報システム（電子カルテ）が稼働し、ログイン時の指静脈による認証を導入し、セキュリティを向上させるとともに、内視鏡情報管理システムや分娩監視システムなど特定の部門で専用端末により使用していたシステムを電子カルテ端末で参照できるように集約化・連携を促進した。さらに、ベッドサイドで患者情報の入力や共有が可能なピクトグラム機能付き床頭台を導入し、電子カルテと連携させることで、情報入力作業を簡素化し、看護師の業務負担の軽減を図った。

診療部門において、医療連携相談課に公認心理士3名を配置し、精神科以外の患者への心理支援の拡充や、医師事務作業補助者、看護助手、介護福祉士の採用を進め、効果的な医療の提供に努めた。

事務部門においては、医療コンサルタントの活用、及び委託業務に関する評価システムを継続して実施し、効率の向上を図るとともに、専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修の実施や、公開講座に参加するなどして職員の資質向上を図った。

また、未収金管理システムを活用するとともに、弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の回収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。

材料購入では、診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、医薬品、診療材料契約単価の価格交渉を効果的にを行い、材料費の節減に努めた。

地方独立行政法人法の改正に伴う内部統制の体制整備については、業務運営上のリスクの選別、評価、及び関係規程の整備を完了し、令和2年度から内部統制の継続的な運用ができるようにした。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 入院診療単価は昨年度比で増となったが、新規入院患者数が減となり、外来診療単価の増により、昨年度と比べ医業収益において1.6%、収益全体でも0.9%（1.7億円）の増となった。計画に比べ医業収益において0.7%の減、収益全体でも1%（1.9億円）の減となった。

[費用] 給与費、材料費の増により、昨年度と比べ医業費用で4.9%、費用全体で7.5%の増となった。計画に比べ医業費用において3.1%の増、費用全体では5.1%（9.7億円）の増となった。

この結果、単年度収支は12億3千万円の赤字となり、経常収支比率も95.5%で、平成22年度の独立行政法人化後、初めて目標である100%以上を達成することができなかった。職員給与費対医業収益比率は、目標50%以下に対して、54.4%となった。業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していくことが必要である。

経常収支比率	=	（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100
営業収益		18,925,654千円
営業外収益		97,079千円
営業費用		19,010,811千円
営業外費用		910,627千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、有給休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、平成30年度に新設したワークライフバランス休暇（特別休暇）は、職員への周知と取得促進を図るため、年次有給休暇に加算する運用変更を行った。また、福利厚生では、職員食堂における特別メニュー、イベントメニューを企画するなどメニューの充実に努め、院内売店は、フランチャイズ方式のコンビニエンスストア化により利便性の向上を図った。

職員の健康管理については、全職員を対象としたメンタルヘルス講習会の実施とともに、前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行い、健康管理対策の充実に努めた。

平成31年3月に移転新築した院内保育施設は、施設の定員を45名から60名に増員し、夜間保育、休日保育等の利便性向上にも引き続き努めている。

医療機器の整備については、新中央診療棟整備も踏まえ、過剰なものとならないよう、現場を熟知する臨床工学部と連携し、整備の必要性・妥当性を検証しながら整備を進める一方、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図っている。

新中央診療棟整備については、医療環境の変化に柔軟に対応できるよう、院内各部門の意見・要望を反映した実施設計書を8月に策定し、令和2年3月に、建設工事の発注方針を公表した。診療棟整備に伴う立体駐車場2棟のうち1棟については、建設工事に着手している。

新医療総合情報システム（電子カルテ）の更新に際しては、新中央診療棟整備、管理棟改装における関連機器の初期及び保守費用まで視野に入れ整備を進め、令和元年5月に整備を完了した。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	IV	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	III	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	III	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	III	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	III	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	IV	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	IV	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	IV	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	IV	

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	17	IV	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	III	
2-1-3 人事評価システムの構築	19	III	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	III	
2-1-5 コンプライアンスの徹底	21	III	
2-1-6 適切な情報管理	22	III	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	IV	
2-2-2 収入の確保	24	III	
2-2-3 費用の削減	25	III	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	26	II	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	III	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	IV	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	III	
8-5 積立金の使途	31	III	

Ⅳ 財務情報及び人員に関する情報

指 標	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度
経常収益 (千円)	17,055,829	17,362,726	18,175,978	18,824,930	19,022,733
経常費用 (千円)	16,979,773	17,240,666	17,821,770	18,788,919	19,921,438
経常利益 (千円)	76,156	122,060	354,208	36,011	△898,705
従事人員数 (人)	1,050	1,095	1,108	1,166	1,242

Ⅴ 項目別の状況

主な指標（3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画）								
	指標	達成目標（中期目標・中期計画）		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度
			(参考) 前中期目標最終年度値					
	経常収支比率	100%を超過	101.6%	100.5%	100.7%	102.0%	100.2%	95.5%
	医業収支比率	100%を超過	101.5%	100.1%	100.7%	102.3%	99.8%	96.7%
	職員給与費対医業収支比率	50%未満	50.6%	51.5%	51.7%	51.0%	52.5%	54.4%

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	1-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供する。 ※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用 に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。 ※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。 ※ 診療体制の充実

	医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実に図ること。 ※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。 ※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 なお、がん医療については、地域がん診療連携拠点病院として、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる先進治療に加え、地域の医療機関等との連携の推進により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実に図ること。
--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																				
01	※ より質の高い医療の提供 1 高度医療機器の計画的な更新・整備 2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 5 コメディカルに対する専門研修の実施 6 EBMの推進	1 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・ 新中央診療棟の開院に向けた医療機器の整備について、各部門における医療機器の配備状況及び要望に基づいて整備計画を策定しており、各部門へヒアリングを実施し、導入時期、導入手法等も含めたより具体的な計画に適時更新を行った。 ・ 令和元年度は、高度医療機器のうち特に老朽化が激しく診療に支障をきたす医療機器を中心に整備を行った。 ・ 高度医療機器などの整備にあたり、ベンチマークシステムを活用し、適正価格で購入できるように努めた。 【更新・整備した主な機器】 <table><tr><th>機器名</th><th>整備目的・用途</th></tr><tr><td>デジタルガンマカメラシステム 1 式</td><td>機器老朽化による更新。放射性医薬品を用いた画像診断装置で機能・形態画像を診断に提供する。</td></tr><tr><td>X線CT撮影装置 1 式</td><td>診療機能充実のため増設。CT 画像を診断に提供する。</td></tr><tr><td>移動型X線透視撮影装置 1 式</td><td>診療機能充実のため増設。手術中に広い視野でX線透視画像を得ることができ、的確で安全な手術を行うことができる。</td></tr><tr><td>心臓用超音波診断装置 1 式</td><td>機器老朽化による更新。心臓機能解析機能を有した装置で、診断に有益な画</td></tr></table>	機器名	整備目的・用途	デジタルガンマカメラシステム 1 式	機器老朽化による更新。放射性医薬品を用いた画像診断装置で機能・形態画像を診断に提供する。	X線CT撮影装置 1 式	診療機能充実のため増設。CT 画像を診断に提供する。	移動型X線透視撮影装置 1 式	診療機能充実のため増設。手術中に広い視野でX線透視画像を得ることができ、的確で安全な手術を行うことができる。	心臓用超音波診断装置 1 式	機器老朽化による更新。心臓機能解析機能を有した装置で、診断に有益な画	4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・ 専門性の高い看護師を養成するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、必要な研修への参加を支援した。がん化学療法、糖尿病看護の分野の教育課程を各 1 名が修了し、令和 2 年度に、認定審査を受審し、資格取得を目指す。 ・ 資格取得の促進を図るため、認定看護師及び専門看護師の有資格者に対する職務特別手当（月額 11,000 円）を新設した。 【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分</th><th>分野</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td rowspan="11">認定</td><td>皮膚・排泄ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>がん化学療法看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>がん性疼痛看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>感染管理</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>新生児集中ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>摂食・嚥下障害看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>慢性心不全看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>脳卒中リハビリテーション看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	区分	分野	H27	H28	H29	H30	R1	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	3	3	集中ケア	2	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	1	1	1	2	2	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1	感染管理	2	3	3	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1	救急看護	1	1	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1	IV	新中央診療棟整備に向けた高度医療機器の整備や医療従事者の確保、電子カルテの更新に伴う医療安全などの体制整備が進捗したことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価
機器名	整備目的・用途																																																																																								
デジタルガンマカメラシステム 1 式	機器老朽化による更新。放射性医薬品を用いた画像診断装置で機能・形態画像を診断に提供する。																																																																																								
X線CT撮影装置 1 式	診療機能充実のため増設。CT 画像を診断に提供する。																																																																																								
移動型X線透視撮影装置 1 式	診療機能充実のため増設。手術中に広い視野でX線透視画像を得ることができ、的確で安全な手術を行うことができる。																																																																																								
心臓用超音波診断装置 1 式	機器老朽化による更新。心臓機能解析機能を有した装置で、診断に有益な画																																																																																								
区分	分野	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																			
認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	3	3																																																																																			
	集中ケア	2	2	2	2	2																																																																																			
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																																			
	がん化学療法看護	1	1	1	2	2																																																																																			
	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																																																																			
	感染管理	2	3	3	2	2																																																																																			
	新生児集中ケア	1	1	1	1	1																																																																																			
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																																																																			
	救急看護	1	1	1	1	1																																																																																			
	慢性心不全看護	1	1	1	1	1																																																																																			
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1																																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策（●）											自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																											
7 専門性を発揮したチーム医療の推進 8 メディカカードの導入などのITの活用 9 医療安全対策の充実 10 院内感染防止対策の確立		像・結果を提供する。					<table><tr><td rowspan="6"></td><td>糖尿病看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>認知症看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>訪問看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>手術看護</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>透析看護</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>小 計</td><td>1 7</td><td>1 8</td><td>1 8</td><td>2 1</td><td>2 1</td></tr><tr><td rowspan="2">専門</td><td>がん看護</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>急性・救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">認定看護管理者</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>		糖尿病看護	1	1	1	1	1	認知症看護	1	1	1	1	1	訪問看護	1	1	1	1	1	手術看護	—	—	—	1	1	透析看護	—	—	—	1	1	小 計	1 7	1 8	1 8	2 1	2 1	専門	がん看護	2	3	2	2	2	急性・救急看護	1	1	1	1	1	認定看護管理者		1	1	1	1	1																																																																																														
			糖尿病看護	1	1	1			1	1																																																																																																																																																				
			認知症看護	1	1	1			1	1																																																																																																																																																				
			訪問看護	1	1	1			1	1																																																																																																																																																				
			手術看護	—	—	—			1	1																																																																																																																																																				
			透析看護	—	—	—			1	1																																																																																																																																																				
			小 計	1 7	1 8	1 8		2 1	2 1																																																																																																																																																					
		専門	がん看護	2	3	2		2	2																																																																																																																																																					
			急性・救急看護	1	1	1		1	1																																																																																																																																																					
		認定看護管理者		1	1	1		1	1																																																																																																																																																					
5 コメディカルに対する専門研修の実施																																																																																																																																																														
・ 最新の高度医療に対応できる技術・知識のある職員を養成するため、学会、研修会等への参加や各種認定資格の取得、維持のため支援を行った。																																																																																																																																																														
【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】																																																																																																																																																														
<table><tr><th rowspan="2">項目 職種</th><th colspan="5">資格取得・ 認定件数(件)</th><th colspan="5">学会研修会等 延べ参加者数(人)</th></tr><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>区分</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td rowspan="2">薬剤師</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">8</td><td>参加</td><td>49</td><td>47</td><td>64</td><td>64</td><td>70</td></tr><tr><td>発表</td><td>6</td><td>9</td><td>8</td><td>9</td><td>5</td></tr><tr><td rowspan="2">放射線 技師</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">6</td><td>参加</td><td>372</td><td>398</td><td>312</td><td>314</td><td>251</td></tr><tr><td>発表</td><td>27</td><td>33</td><td>25</td><td>20</td><td>19</td></tr><tr><td rowspan="2">臨床検 査技師</td><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">9</td><td rowspan="2">9</td><td rowspan="2">7</td><td>参加</td><td>38</td><td>26</td><td>33</td><td>42</td><td>38</td></tr><tr><td>発表</td><td>5</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td rowspan="2">臨床工 学技士</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">3</td><td>参加</td><td>26</td><td>22</td><td>26</td><td>25</td><td>16</td></tr><tr><td>発表</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">リハビ リ技師</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">19</td><td>参加</td><td>18</td><td>38</td><td>12</td><td>60</td><td>90</td></tr><tr><td>発表</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td rowspan="2">管理栄 養士</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">2</td><td>参加</td><td>10</td><td>9</td><td>4</td><td>10</td><td>12</td></tr><tr><td>発表</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td rowspan="2">25</td><td rowspan="2">23</td><td rowspan="2">25</td><td rowspan="2">24</td><td rowspan="2">45</td><td>参加</td><td>513</td><td>540</td><td>451</td><td>515</td><td>295</td></tr><tr><td>発表</td><td>48</td><td>52</td><td>47</td><td>39</td><td>30</td></tr></table>											項目 職種	資格取得・ 認定件数(件)					学会研修会等 延べ参加者数(人)					H27	H28	H29	H30	R1	区分	H27	H28	H29	H30	R1	薬剤師	1	1	1	3	8	参加	49	47	64	64	70	発表	6	9	8	9	5	放射線 技師	6	2	7	6	6	参加	372	398	312	314	251	発表	27	33	25	20	19	臨床検 査技師	12	15	9	9	7	参加	38	26	33	42	38	発表	5	2	2	2	4	臨床工 学技士	4	1	4	1	3	参加	26	22	26	25	16	発表	7	6	7	3	1	リハビ リ技師	2	4	2	3	19	参加	18	38	12	60	90	発表	2	1	4	4	8	管理栄 養士	0	0	2	2	2	参加	10	9	4	10	12	発表	1	1	1	1	1	合 計	25	23	25	24	45	参加	513	540	451	515	295	発表	48	52	47	39	30
項目 職種	資格取得・ 認定件数(件)					学会研修会等 延べ参加者数(人)																																																																																																																																																								
	H27	H28	H29	H30	R1	区分	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																			
薬剤師	1	1	1	3	8	参加	49	47	64	64	70																																																																																																																																																			
						発表	6	9	8	9	5																																																																																																																																																			
放射線 技師	6	2	7	6	6	参加	372	398	312	314	251																																																																																																																																																			
						発表	27	33	25	20	19																																																																																																																																																			
臨床検 査技師	12	15	9	9	7	参加	38	26	33	42	38																																																																																																																																																			
						発表	5	2	2	2	4																																																																																																																																																			
臨床工 学技士	4	1	4	1	3	参加	26	22	26	25	16																																																																																																																																																			
						発表	7	6	7	3	1																																																																																																																																																			
リハビ リ技師	2	4	2	3	19	参加	18	38	12	60	90																																																																																																																																																			
						発表	2	1	4	4	8																																																																																																																																																			
管理栄 養士	0	0	2	2	2	参加	10	9	4	10	12																																																																																																																																																			
						発表	1	1	1	1	1																																																																																																																																																			
合 計	25	23	25	24	45	参加	513	540	451	515	295																																																																																																																																																			
						発表	48	52	47	39	30																																																																																																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																														
		9 医療安全対策の充実 - インシデントレポートの集計、分析を行い、医療安全管理委員会において再発防止策を検討した。その検討結果に基づき管理会議、医局会、看護部安全対策委員会等で注意喚起、周知を図った。 - コメディカル各部門の技師長、副技師長クラスを医療安全部への配置を継続し、カンファレンスや院内ラウンド、医療安全講演会の開催等を精力的に実施した。 4 半期ごとに「医療安全一斉点検の日」を定め、全職員が医療安全に関する実践状況について自己チェックを行う取り組みを継続し、職員一人ひとりの安全意識の向上に努めた。 - 電子カルテシステムの更新にあわせて、医療安全管理マニュアルの見直し、現場でのフローの検証を実施した。 【インシデント・アクシデント件数】 単位：件 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>インシデント</td><td>3,765</td><td>3,273</td><td>3,474</td><td>3,344</td><td>3,881</td></tr><tr><td>アクシデント</td><td>30</td><td>14</td><td>23</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,795</td><td>3,287</td><td>3,497</td><td>3,371</td><td>3,909</td></tr></table> 【医療安全講演会開催実績】 単位：人 <table><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>DVD 研修会</th><th>参加率 (%)</th></tr><tr><td>インシデント事例報告 ～事例から考える原因と 対策～(9/6)</td><td>645</td><td>545</td><td>100</td></tr><tr><td>最近の医療安全の考え方 (3/19)</td><td>配布数 1,239</td><td>-</td><td>-</td></tr></table> ※DVD研修会：参加率 100%を目指すため実施 ※3/19 講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修資料の配布のみとした。 10 院内感染防止対策の確立 - 毎週、細菌検査室から院内分離菌情報の報告を受け、アウトブレイク等のリスク評価を実施し、リスクの高い病棟に対しては I C T（Infection Control Team：感染防止対策チーム）ラウンドを行っている。	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	インシデント	3,765	3,273	3,474	3,344	3,881	アクシデント	30	14	23	27	28	合計	3,795	3,287	3,497	3,371	3,909	テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	インシデント事例報告 ～事例から考える原因と 対策～(9/6)	645	545	100	最近の医療安全の考え方 (3/19)	配布数 1,239	-	-	6 EBMの推進 - クリニカルパス推進委員会から各診療科に対し、新医療総合情報システム（電子カルテ）へのパス登録の働きかけを行った。システム切り替え時は低下したが、利用率は平成 30 年度を 0.9 ポイント下回るものの 46.6%となった。 【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件 <table><tr><th>診療科名＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>産婦人科</td><td>28</td><td>30</td><td>28</td><td>28</td><td>17</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>36</td><td>43</td><td>14</td><td>15</td><td>12</td></tr><tr><td>呼吸器科</td><td>3</td><td>23</td><td>23</td><td>23</td><td>2</td></tr><tr><td>外科・消化器外科</td><td>26</td><td>27</td><td>15</td><td>22</td><td>12</td></tr><tr><td>循環器科</td><td>13</td><td>14</td><td>13</td><td>14</td><td>17</td></tr><tr><td>その他</td><td>102</td><td>102</td><td>137</td><td>121</td><td>68</td></tr><tr><td>合 計</td><td>208</td><td>239</td><td>230</td><td>223</td><td>128</td></tr></table> 【クリニカルパス利用率】 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>39.6%</td><td>42.8%</td><td>46.8%</td><td>47.5%</td><td>46.6%</td></tr></table> 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 - N S T（栄養サポートチーム）、R S T（呼吸ケアサポートチーム）、I C T（感染防止対策チーム）、精神科リエゾンチーム、褥瘡チーム、P C T（緩和ケアチーム）、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。 8 メディカカードの導入などの I T の活用 - 令和元年 5 月から新医療総合情報システム（電子カルテ）が稼働し、内視鏡情報管理システムや分娩監視システムなど特定の部門で専用端末により使用していたシステムを電子カルテ端末で参照できるように集約化・連携を図るとともに、統計のためのデータベースを画一化することで、出力しやすいように整備した。	診療科名＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	産婦人科	28	30	28	28	17	整形外科	36	43	14	15	12	呼吸器科	3	23	23	23	2	外科・消化器外科	26	27	15	22	12	循環器科	13	14	13	14	17	その他	102	102	137	121	68	合 計	208	239	230	223	128	H27	H28	H29	H30	R1	39.6%	42.8%	46.8%	47.5%	46.6%		
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																														
インシデント	3,765	3,273	3,474	3,344	3,881																																																																																														
アクシデント	30	14	23	27	28																																																																																														
合計	3,795	3,287	3,497	3,371	3,909																																																																																														
テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																																																																
インシデント事例報告 ～事例から考える原因と 対策～(9/6)	645	545	100																																																																																																
最近の医療安全の考え方 (3/19)	配布数 1,239	-	-																																																																																																
診療科名＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																														
産婦人科	28	30	28	28	17																																																																																														
整形外科	36	43	14	15	12																																																																																														
呼吸器科	3	23	23	23	2																																																																																														
外科・消化器外科	26	27	15	22	12																																																																																														
循環器科	13	14	13	14	17																																																																																														
その他	102	102	137	121	68																																																																																														
合 計	208	239	230	223	128																																																																																														
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																															
39.6%	42.8%	46.8%	47.5%	46.6%																																																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																				
		・ 感染対策講演会の企画開催、感染対策に関する新規情報や院内の活動状況を掲載した ICT 通信の発行、院内ラウンドを通じ、職員への教育および啓発活動に努めた。 【感染対策教育講演会開催実績】単位：人 <table><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>DVD 研修会</th><th>参加率 （%）</th></tr><tr><td>・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動について ・CD感染症および麻疹の対策 (9/6)</td><td>645</td><td>545</td><td>100%</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス感染症について（資料配布のみ）</td><td>全職員</td><td>-</td><td>100%</td></tr></table> ※DVD研修会：参加率 100%を目指すため実施	テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）	・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動について ・CD感染症および麻疹の対策 (9/6)	645	545	100%	新型コロナウイルス感染症について（資料配布のみ）	全職員	-	100%																																											
テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）																																																						
・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動について ・CD感染症および麻疹の対策 (9/6)	645	545	100%																																																						
新型コロナウイルス感染症について（資料配布のみ）	全職員	-	100%																																																						
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 2 院内環境の快適性の向上 3 医療に関する相談体制の充実 4 患者中心の医療の提供 5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	2 院内環境の快適性の向上 ・ 空調の改修は計画的に実施し、過去の修理履歴等から故障しやすい部品等の予防交換などの対策を進めた。 ・ ベッドサイドで患者情報を表示可能なピクトグラム機能付き床頭台を導入し、患者の状態だけでなく、検査の予定など入院中に必要な情報を分かりやすく患者に提供できる環境を構築した。 ・ 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NST が早期に介入し、多職種協働で栄養管理を行い、早期改善に努めた。 ・ 毎食の残食調査、2ヶ月ごとの嗜好調査を実施し、献立・食材の変更、職員教育の徹底等の見直しに取り組んだ。 【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>栄養指導</td><td>4,552</td><td>5,164</td><td>5,113</td><td>4,173</td><td>4,585</td></tr><tr><td>栄養管理</td><td>2,017</td><td>1,044</td><td>2,140</td><td>3,009</td><td>5,700</td></tr><tr><td>NST 介入</td><td>433</td><td>430</td><td>442</td><td>488</td><td>555</td></tr></table>	項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1	栄養指導	4,552	5,164	5,113	4,173	4,585	栄養管理	2,017	1,044	2,140	3,009	5,700	NST 介入	433	430	442	488	555	1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・ 中央放射線及び生理検査について9～12月の4ヶ月間、待ち時間調査を実施した。病院全体の平均待ち時間は12分となった。（※5月の電子カルテ更新により、平成30年度以前と測定方法が異なるため、平成30年度以前の数値との比較はできない）。 ・ 非常勤放射線技師を午後医療連携業務に専従させて、連携業務や医療機関訪問活動を実施し、CTやMRIといった高度医療機器利用促進を図った。 【平均待ち時間】単位：分 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>22</td><td>20</td><td>17</td><td>21</td><td>12</td></tr></table> ※待ち時間は病院全体の時間 【CT、MRI 検査件数】単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>CT 件数</td><td>29,355</td><td>29,516</td><td>32,872</td><td>34,511</td><td>33,727</td></tr><tr><td>MRI 件数</td><td>9,862</td><td>9,833</td><td>10,208</td><td>10,766</td><td>10,759</td></tr></table>	H27	H28	H29	H30	R1	22	20	17	21	12	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	CT 件数	29,355	29,516	32,872	34,511	33,727	MRI 件数	9,862	9,833	10,208	10,766	10,759	IV	相談員の増員やスキルアップ等に取り組んできたことが相談件数の増加に繋がったこと。また、床頭台の導入や治療効果を高めるための栄養指導等も積極的に取り組み、院内環境の向上に繋がった実績を評価
項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																				
栄養指導	4,552	5,164	5,113	4,173	4,585																																																				
栄養管理	2,017	1,044	2,140	3,009	5,700																																																				
NST 介入	433	430	442	488	555																																																				
H27	H28	H29	H30	R1																																																					
22	20	17	21	12																																																					
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																				
CT 件数	29,355	29,516	32,872	34,511	33,727																																																				
MRI 件数	9,862	9,833	10,208	10,766	10,759																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																								
	6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映	3 医療に関する相談体制の充実 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応を可能とするとともに、岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部主催の研修会に参加し相談員のスキルアップを図った結果、より多くの相談へ対応が可能となった。 【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td><td>251</td><td>322</td><td>423</td><td>517</td><td>509</td></tr> <tr> <td>よろず相談</td><td>1,480</td><td>1,129</td><td>1,434</td><td>1,804</td><td>2,214</td></tr> </tbody> </table> 【医療相談件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td><td>12,303</td><td>14,597</td><td>15,969</td><td>17,605</td><td>20,450</td></tr> <tr> <td>がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数</td><td>99</td><td>55</td><td>58</td><td>228</td><td>192</td></tr> </tbody> </table> 【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td><td>64</td><td>57</td><td>61</td><td>48</td><td>34</td></tr> <tr> <td>開示件数</td><td>62</td><td>42</td><td>57</td><td>48</td><td>34</td></tr> </tbody> </table>	項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1	かかりつけ医への紹介	251	322	423	517	509	よろず相談	1,480	1,129	1,434	1,804	2,214	項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医療相談件数	12,303	14,597	15,969	17,605	20,450	がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	99	55	58	228	192	項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1	請求件数	64	57	61	48	34	開示件数	62	42	57	48	34	【手術件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td><td>4,969</td><td>4,814</td><td>4,933</td><td>4,799</td><td>4,857</td></tr> <tr> <td>中放内視鏡</td><td>2,512</td><td>2,471</td><td>2,778</td><td>2,858</td><td>2,912</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>7,481</td><td>7,284</td><td>7,711</td><td>7,657</td><td>7,769</td></tr> </tbody> </table> 4 患者中心の医療の提供 - 患者サポート体制カンファレンスを毎週1回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 - 患者図書室については、東濃地域の公共図書館において、利用促進のための情報発信や、認定看護師による所蔵資料の見直しに取り組んだ。 【患者図書室利用実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（単位：人）</td><td>10,552</td><td>9,830</td><td>8,836</td><td>9,402</td><td>8,398</td></tr> <tr> <td>稼働日数（単位：日）</td><td>242</td><td>242</td><td>243</td><td>245</td><td>240</td></tr> <tr> <td>1日平均（単位：日）</td><td>43.6</td><td>40.6</td><td>36.4</td><td>38.4</td><td>35.0</td></tr> </tbody> </table> 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 - 各診療科が新規に作成する説明書・同意書については、当院の「患者説明・同意手順」に沿ったものとなっているか診療委員会で審議した。 - セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、引き続き迅速な予約体制を維持した。 【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td><td>20</td><td>6</td><td>5</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr> <td>他院紹介</td><td>70</td><td>61</td><td>76</td><td>68</td><td>51</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	手術室	4,969	4,814	4,933	4,799	4,857	中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	2,858	2,912	合 計	7,481	7,284	7,711	7,657	7,769	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	利用者数（単位：人）	10,552	9,830	8,836	9,402	8,398	稼働日数（単位：日）	242	242	243	245	240	1日平均（単位：日）	43.6	40.6	36.4	38.4	35.0	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	外来受入	20	6	5	7	7	他院紹介	70	61	76	68	51		
項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
かかりつけ医への紹介	251	322	423	517	509																																																																																																																								
よろず相談	1,480	1,129	1,434	1,804	2,214																																																																																																																								
項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
医療相談件数	12,303	14,597	15,969	17,605	20,450																																																																																																																								
がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	99	55	58	228	192																																																																																																																								
項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
請求件数	64	57	61	48	34																																																																																																																								
開示件数	62	42	57	48	34																																																																																																																								
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
手術室	4,969	4,814	4,933	4,799	4,857																																																																																																																								
中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	2,858	2,912																																																																																																																								
合 計	7,481	7,284	7,711	7,657	7,769																																																																																																																								
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
利用者数（単位：人）	10,552	9,830	8,836	9,402	8,398																																																																																																																								
稼働日数（単位：日）	242	242	243	245	240																																																																																																																								
1日平均（単位：日）	43.6	40.6	36.4	38.4	35.0																																																																																																																								
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
外来受入	20	6	5	7	7																																																																																																																								
他院紹介	70	61	76	68	51																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																						
			6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ・ 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、病院施設の整備（新中央診療棟、立体駐車場、保育所建設）、第3期中期計画等をテーマに意見交換を行った。 ・ 患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q I プロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。 【満足度調査の比較】 単位：％ <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th><th colspan="5">満足度</th></tr><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td rowspan="2">入院</td><td>当院</td><td>95.6</td><td>98.1</td><td>95.5</td><td>96.4</td><td>97.3</td></tr><tr><td>Q I プロジェクト参加病院（平均値）</td><td>89.3</td><td>89.1</td><td>89.9</td><td>89.3</td><td>88.7</td></tr><tr><td rowspan="2">外来</td><td>当院</td><td>87.2</td><td>87.7</td><td>87.2</td><td>87.9</td><td>82.7</td></tr><tr><td>Q I プロジェクト参加病院（平均値）</td><td>81.7</td><td>83.0</td><td>82.5</td><td>82.5</td><td>81.5</td></tr></table> ※ Q I プロジェクトデータを全て引用			満足度					H27	H28	H29	H30	R1	入院	当院	95.6	98.1	95.5	96.4	97.3	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	89.3	89.1	89.9	89.3	88.7	外来	当院	87.2	87.7	87.2	87.9	82.7	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	81.7	83.0	82.5	82.5	81.5		
		満足度																																									
		H27	H28	H29	H30	R1																																					
入院	当院	95.6	98.1	95.5	96.4	97.3																																					
	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	89.3	89.1	89.9	89.3	88.7																																					
外来	当院	87.2	87.7	87.2	87.9	82.7																																					
	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	81.7	83.0	82.5	82.5	81.5																																					
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 地域医療連携センターが中心となり、開業医への訪問活動、地域医療連携推進協議会、可児・東濃地域病病連携推進会議、地域連携クリニカルパス合同委員会、健康づくり講座等に取り組んだ。 ・ 健康づくり講座を 17 回開催した。なお、医療連携交流会（講演会及び開業医と当院医師の意見交換会）については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、これらの活動を通じ、地域の医療ニーズを聴取し、院内関係部門と情報を共有するとともに連携予約体制や地域連携バスの運用方法の検討等を行い診療体制の充実を図った。 【連携予約状況】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>整形外科</td><td>1,019</td><td>1,217</td><td>1,213</td><td>1,247</td><td>1,427</td></tr><tr><td>神経内科</td><td>871</td><td>880</td><td>818</td><td>870</td><td>995</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	整形外科	1,019	1,217	1,213	1,247	1,427	神経内科	871	880	818	870	995	2 多様な専門職の積極的な活用 ・ 再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。（看護師、臨床検査技師、理学療法士、臨床工学士等、延べ10名を再雇用） ・ 看護師の業務負担軽減のため、非常勤で新たに介護福祉士4名を採用し、病棟に配置した。	IV	開業医への訪問活動、健康づくり講座、地域病病連携推進会議などの継続的な取組が診療体制の整備充実につながっている実績を評価																				
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																						
整形外科	1,019	1,217	1,213	1,247	1,427																																						
神経内科	871	880	818	870	995																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																												
		<table><tr><td>消化器内科</td><td>1,738</td><td>1,675</td><td>1,715</td><td>1,922</td><td>2,047</td></tr><tr><td>その他</td><td>9,604</td><td>10,028</td><td>10,732</td><td>11,115</td><td>11,743</td></tr><tr><td>合 計</td><td>13,232</td><td>13,800</td><td>14,478</td><td>15,154</td><td>16,212</td></tr></table> 【訪問活動・健康づくり講座】 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>訪問活動（件）</td><td>44</td><td>17</td><td>100</td><td>20</td><td>34</td></tr><tr><td>健康づくり講座（回）</td><td>12</td><td>15</td><td>20</td><td>21</td><td>17</td></tr></table> 【医療連携交流会】 単位：人 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>院外参加者数</td><td>35</td><td>68</td><td>中止</td></tr><tr><td>院内参加者数</td><td>40</td><td>50</td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>75</td><td>118</td><td></td></tr></table>	消化器内科	1,738	1,675	1,715	1,922	2,047	その他	9,604	10,028	10,732	11,115	11,743	合 計	13,232	13,800	14,478	15,154	16,212	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	訪問活動（件）	44	17	100	20	34	健康づくり講座（回）	12	15	20	21	17	区分＼年度	H29	H30	R1	院外参加者数	35	68	中止	院内参加者数	40	50		合 計	75	118																																
消化器内科	1,738	1,675	1,715	1,922	2,047																																																																																
その他	9,604	10,028	10,732	11,115	11,743																																																																																
合 計	13,232	13,800	14,478	15,154	16,212																																																																																
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																
訪問活動（件）	44	17	100	20	34																																																																																
健康づくり講座（回）	12	15	20	21	17																																																																																
区分＼年度	H29	H30	R1																																																																																		
院外参加者数	35	68	中止																																																																																		
院内参加者数	40	50																																																																																			
合 計	75	118																																																																																			
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 2 地域連携クリニカルパスの整備普及 3 救急医療コミュニティシステム等の活用 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 ・ 地域医療機関向けの講演会や、市民向けの健康づくり講座を通じて、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化を図った。また、多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）については、訪問活動時等におけるPR活動により、利用件数が増加した。これらの取り組みにより、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができ、地域医療支援病院としての要件を満たした。 ・ 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し登録医の情報を提供するとともに、地域の医療機関を検索可能な専用端末を常設し、患者が地域の登録医を手軽に検索できるようになっている。 【多治見シャトル利用】 単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>702</td><td>1,082</td><td>1,626</td><td>2,043</td><td>2,840</td></tr></table> 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：％ <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>58.8</td><td>61.2</td><td>63.7</td><td>67.0</td><td>78.4</td></tr></table>	H27	H28	H29	H30	R1	702	1,082	1,626	2,043	2,840	H27	H28	H29	H30	R1	58.8	61.2	63.7	67.0	78.4	2 地域連携クリニカルパスの整備普及 ・ 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会（3回）を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。また、地域連携クリニカルパスの登録医、関係機関との合同委員会（カンファレンス）を3回開催し、運用上の問題点や意見を集約し、運用の見直しを行った。 【地域連携パス運用実績】 単位：件 <table><tr><th>パス名＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>100</td><td>100</td><td>115</td><td>101</td><td>129</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>222</td><td>263</td><td>247</td><td>267</td><td>238</td></tr><tr><td>5大がん</td><td>22</td><td>30</td><td>12</td><td>16</td><td>6</td></tr><tr><td>狭心症・心筋梗塞</td><td>117</td><td>92</td><td>65</td><td>25</td><td>15</td></tr><tr><td>糖尿病</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合 計</td><td>461</td><td>485</td><td>439</td><td>409</td><td>388</td></tr></table> 【共同指導・連携指導の実績】 単位：件 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>退院時共同指導実績</td><td>112</td><td>90</td><td>129</td><td>171</td><td>204</td></tr><tr><td>介護支援連携指導</td><td>231</td><td>187</td><td>184</td><td>371</td><td>372</td></tr></table>	パス名＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	大腿骨頸部骨折	100	100	115	101	129	脳卒中	222	263	247	267	238	5大がん	22	30	12	16	6	狭心症・心筋梗塞	117	92	65	25	15	糖尿病	0	0	0	0	0	合 計	461	485	439	409	388	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	退院時共同指導実績	112	90	129	171	204	介護支援連携指導	231	187	184	371	372	IV	多治見シャトルや、医療連携予約の活用、逆紹介などに、継続的な取組による成果が表れている。近隣の医療機関との役割分担と連携が進んでいる実績を評価
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																	
702	1,082	1,626	2,043	2,840																																																																																	
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																	
58.8	61.2	63.7	67.0	78.4																																																																																	
パス名＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																
大腿骨頸部骨折	100	100	115	101	129																																																																																
脳卒中	222	263	247	267	238																																																																																
5大がん	22	30	12	16	6																																																																																
狭心症・心筋梗塞	117	92	65	25	15																																																																																
糖尿病	0	0	0	0	0																																																																																
合 計	461	485	439	409	388																																																																																
項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																
退院時共同指導実績	112	90	129	171	204																																																																																
介護支援連携指導	231	187	184	371	372																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																								
		【紹介率・逆紹介率】 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>紹介率 (単位：％)</td><td>65.7</td><td>75.7</td><td>76.2</td><td>75.1</td><td>73.4</td></tr><tr><td>紹介実件数 (単位：件)</td><td>22,506</td><td>22,553</td><td>22,651</td><td>22,632</td><td>20,677</td></tr><tr><td>逆紹介率 (単位：％)</td><td>77.3</td><td>86.2</td><td>88.0</td><td>89.2</td><td>101.2</td></tr><tr><td>逆紹介実件数 (単位：件)</td><td>17,796</td><td>17,325</td><td>17,437</td><td>18,246</td><td>19,996</td></tr></table> 【高度医療機器利用状況】単位：件 <table><tr><th>機器名\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>C T</td><td>762</td><td>887</td><td>924</td><td>892</td><td>1,031</td></tr><tr><td>M R I</td><td>628</td><td>580</td><td>666</td><td>612</td><td>607</td></tr><tr><td>R I</td><td>137</td><td>128</td><td>128</td><td>130</td><td>158</td></tr><tr><td>P E T</td><td>60</td><td>57</td><td>58</td><td>39</td><td>50</td></tr><tr><td>骨密度</td><td>46</td><td>63</td><td>66</td><td>76</td><td>85</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,633</td><td>1,715</td><td>1,842</td><td>1,749</td><td>1,931</td></tr></table> 【開放型病床利用】単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>医科</td><td>13</td><td>21</td><td>50</td><td>26</td><td>11</td></tr><tr><td>歯科</td><td>26</td><td>22</td><td>24</td><td>24</td><td>29</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	紹介率 (単位：％)	65.7	75.7	76.2	75.1	73.4	紹介実件数 (単位：件)	22,506	22,553	22,651	22,632	20,677	逆紹介率 (単位：％)	77.3	86.2	88.0	89.2	101.2	逆紹介実件数 (単位：件)	17,796	17,325	17,437	18,246	19,996	機器名\年度	H27	H28	H29	H30	R1	C T	762	887	924	892	1,031	M R I	628	580	666	612	607	R I	137	128	128	130	158	P E T	60	57	58	39	50	骨密度	46	63	66	76	85	合 計	1,633	1,715	1,842	1,749	1,931	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医科	13	21	50	26	11	歯科	26	22	24	24	29	3 救急医療コミュニティシステム等の活用 - 医療総合情報システム（電子カルテ）更新時に「ぎふ清流ネット」への接続、移行を完了した。 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化 - 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 - 毎週木曜日に退院支援看護師と医療相談員でカンファレンスを実施し情報の共有化を図り担当間の連携を密にし、円滑な退院支援に努めた。 - 適切な退院、転院を進めるために、医療機関や介護・福祉機関を継続的に訪問し、在宅復帰率 75%以上を達成し在宅復帰率の安定的な維持を図った。 【在宅復帰率】単位：％ <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>87.47</td><td>86.50</td><td>87.3</td><td>92.1</td><td>91.0</td></tr></table> 【相談対応件数】単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>12,303</td><td>14,597</td><td>15,969</td><td>17,605</td><td>20,450</td></tr></table> 【合同カンファレンスの実績】単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>231</td><td>277</td><td>313</td><td>386</td><td>465</td></tr></table>	H27	H28	H29	H30	R1	87.47	86.50	87.3	92.1	91.0	H27	H28	H29	H30	R1	12,303	14,597	15,969	17,605	20,450	H27	H28	H29	H30	R1	231	277	313	386	465		
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
紹介率 (単位：％)	65.7	75.7	76.2	75.1	73.4																																																																																																																								
紹介実件数 (単位：件)	22,506	22,553	22,651	22,632	20,677																																																																																																																								
逆紹介率 (単位：％)	77.3	86.2	88.0	89.2	101.2																																																																																																																								
逆紹介実件数 (単位：件)	17,796	17,325	17,437	18,246	19,996																																																																																																																								
機器名\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
C T	762	887	924	892	1,031																																																																																																																								
M R I	628	580	666	612	607																																																																																																																								
R I	137	128	128	130	158																																																																																																																								
P E T	60	57	58	39	50																																																																																																																								
骨密度	46	63	66	76	85																																																																																																																								
合 計	1,633	1,715	1,842	1,749	1,931																																																																																																																								
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																								
医科	13	21	50	26	11																																																																																																																								
歯科	26	22	24	24	29																																																																																																																								
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																									
87.47	86.50	87.3	92.1	91.0																																																																																																																									
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																									
12,303	14,597	15,969	17,605	20,450																																																																																																																									
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																									
231	277	313	386	465																																																																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																																						
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救命救急医療 2 周産期医療 3 がん医療 4 精神科医療・感染症医療 5 緩和ケア	3 がん医療 - 高精度放射線治療装置（ノバルスTx・トゥルービーム）の2台体制により、正確で質の高い放射線治療を提供した、特徴を生かしたより先進的かつ効果的な放射線治療の提供に努めた。 - 放射線治療品質管理委員会を開催し、放射線治療の現状・品質管理などについて検討を行った。第三者機関による出力評価を受け最大誤差2％以内と高い精度であることの評価を得た。地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。 - 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについてパスコーディネーターを中心に適用患者の増進に努めた。 【がん患者等の状況】 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>入院患者数（単位：人）</td><td>2,622</td><td>2,695</td><td>2,805</td><td>3,060</td><td>2,858</td></tr><tr><td>外来患者数（単位：人）</td><td>1,496</td><td>1,675</td><td>1,877</td><td>1,848</td><td>1,818</td></tr><tr><td>手術件数</td><td>1,108</td><td>1,121</td><td>1,108</td><td>1,066</td><td>1,036</td></tr><tr><td rowspan="2">化学療法件数</td><td>入院</td><td>1,272</td><td>1,824</td><td>1,510</td><td>1,433</td><td>1,505</td></tr><tr><td>外来</td><td>11,894</td><td>11,403</td><td>11,610</td><td>11,842</td><td>12,704</td></tr><tr><td rowspan="2">放射線治療施行回数</td><td>入院</td><td>3,031</td><td>2,958</td><td>2,853</td><td>3,169</td><td>2,950</td></tr><tr><td>外来</td><td>5,429</td><td>4,864</td><td>5,185</td><td>5,825</td><td>6,481</td></tr></table> 【がんパス件数】 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>22</td><td>30</td><td>12</td><td>16</td><td>6</td></tr></table> 【高精度放射線治療システム（ノバルスTx・トゥルービーム）】 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>患者数（単位：人）</td><td>264</td><td>307</td><td>344</td><td>471</td><td>462</td></tr><tr><td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td><td>239</td><td>273</td><td>254</td><td>295</td><td>337</td></tr><tr><td>延べ件数（単位：件）</td><td>5,076</td><td>5,988</td><td>6,491</td><td>9,413</td><td>9,714</td></tr></table> 4 精神科医療・感染症医療 - 東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関として、救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者の受け入れ体制を継続維持	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	入院患者数（単位：人）	2,622	2,695	2,805	3,060	2,858	外来患者数（単位：人）	1,496	1,675	1,877	1,848	1,818	手術件数	1,108	1,121	1,108	1,066	1,036	化学療法件数	入院	1,272	1,824	1,510	1,433	1,505	外来	11,894	11,403	11,610	11,842	12,704	放射線治療施行回数	入院	3,031	2,958	2,853	3,169	2,950	外来	5,429	4,864	5,185	5,825	6,481	H27	H28	H29	H30	R1	22	30	12	16	6	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	患者数（単位：人）	264	307	344	471	462	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	239	273	254	295	337	延べ件数（単位：件）	5,076	5,988	6,491	9,413	9,714	1 救命救急医療 救命救急センターと各診療科の緊密な連携、協力のもと救命救急医療体制を維持するとともに、小児科全例受け入れ等、更なる充実に努めた。 【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】 <table><tr><th>年度</th><th colspan="2">H28</th><th colspan="2">H29</th><th colspan="2">H30</th></tr><tr><th>項目</th><th>延患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th><th>延患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th><th>延患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th></tr><tr><td>ICU</td><td>1,539</td><td>52.7</td><td>1,440</td><td>49.3</td><td>1,526</td><td>52.3</td></tr><tr><td>CCU</td><td>844</td><td>77.1</td><td>907</td><td>82.8</td><td>864</td><td>78.9</td></tr><tr><td>HCU</td><td>1,678</td><td>51.1</td><td>1,688</td><td>51.4</td><td>1,688</td><td>48.2</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,061</td><td>55.6</td><td>4,035</td><td>55.3</td><td>3,975</td><td>54.5</td></tr></table> 【救急車両受入台数】 <table><tr><th>年度</th><th colspan="2">R1</th></tr><tr><th>項目</th><th>延患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th></tr><tr><td>ICU</td><td>1,554</td><td>53.2</td></tr><tr><td>CCU</td><td>840</td><td>76.7</td></tr><tr><td>HCU</td><td>1,481</td><td>45.1</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,875</td><td>53.1</td></tr></table> 【救急車両受入台数】 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>受入台数</td><td>4,933</td><td>4,678</td><td>4,973</td><td>5,082</td><td>5,136</td></tr><tr><td>一日平均台数</td><td>13.5</td><td>12.8</td><td>13.6</td><td>13.9</td><td>14.0</td></tr></table> 【心臓血管手術症例数】 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>虚血性心疾患</td><td>28</td><td>25</td><td>36</td><td>42</td><td>35</td></tr><tr><td>弁膜症</td><td>31</td><td>29</td><td>37</td><td>37</td><td>42</td></tr><tr><td>大動脈</td><td>34</td><td>47</td><td>53</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>その他</td><td>17</td><td>81</td><td>92</td><td>84</td><td>82</td></tr><tr><td>合 計</td><td>110</td><td>182</td><td>218</td><td>208</td><td>204</td></tr></table>	年度	H28		H29		H30		項目	延患者数 (人)	病床利用率 (%)	延患者数 (人)	病床利用率 (%)	延患者数 (人)	病床利用率 (%)	ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3	CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9	HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,688	48.2	合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5	年度	R1		項目	延患者数 (人)	病床利用率 (%)	ICU	1,554	53.2	CCU	840	76.7	HCU	1,481	45.1	合計	3,875	53.1	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	受入台数	4,933	4,678	4,973	5,082	5,136	一日平均台数	13.5	12.8	13.6	13.9	14.0	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	虚血性心疾患	28	25	36	42	35	弁膜症	31	29	37	37	42	大動脈	34	47	53	45	45	その他	17	81	92	84	82	合 計	110	182	218	208	204	IV	放射線治療器の増設等によるがん治療体制の整備に引き続き取り組むとともに、感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症へ対応した実績を評価
項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																						
入院患者数（単位：人）	2,622	2,695	2,805	3,060	2,858																																																																																																																																																																																																						
外来患者数（単位：人）	1,496	1,675	1,877	1,848	1,818																																																																																																																																																																																																						
手術件数	1,108	1,121	1,108	1,066	1,036																																																																																																																																																																																																						
化学療法件数	入院	1,272	1,824	1,510	1,433	1,505																																																																																																																																																																																																					
	外来	11,894	11,403	11,610	11,842	12,704																																																																																																																																																																																																					
放射線治療施行回数	入院	3,031	2,958	2,853	3,169	2,950																																																																																																																																																																																																					
	外来	5,429	4,864	5,185	5,825	6,481																																																																																																																																																																																																					
H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																							
22	30	12	16	6																																																																																																																																																																																																							
項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																						
患者数（単位：人）	264	307	344	471	462																																																																																																																																																																																																						
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	239	273	254	295	337																																																																																																																																																																																																						
延べ件数（単位：件）	5,076	5,988	6,491	9,413	9,714																																																																																																																																																																																																						
年度	H28		H29		H30																																																																																																																																																																																																						
項目	延患者数 (人)	病床利用率 (%)	延患者数 (人)	病床利用率 (%)	延患者数 (人)	病床利用率 (%)																																																																																																																																																																																																					
ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3																																																																																																																																																																																																					
CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9																																																																																																																																																																																																					
HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,688	48.2																																																																																																																																																																																																					
合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5																																																																																																																																																																																																					
年度	R1																																																																																																																																																																																																										
項目	延患者数 (人)	病床利用率 (%)																																																																																																																																																																																																									
ICU	1,554	53.2																																																																																																																																																																																																									
CCU	840	76.7																																																																																																																																																																																																									
HCU	1,481	45.1																																																																																																																																																																																																									
合計	3,875	53.1																																																																																																																																																																																																									
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																						
受入台数	4,933	4,678	4,973	5,082	5,136																																																																																																																																																																																																						
一日平均台数	13.5	12.8	13.6	13.9	14.0																																																																																																																																																																																																						
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																																																						
虚血性心疾患	28	25	36	42	35																																																																																																																																																																																																						
弁膜症	31	29	37	37	42																																																																																																																																																																																																						
大動脈	34	47	53	45	45																																																																																																																																																																																																						
その他	17	81	92	84	82																																																																																																																																																																																																						
合 計	110	182	218	208	204																																																																																																																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																												
		持した。 - 東濃精神科医療連絡会の開催（2回）や、県内の医療機関との情報交換により症例検討のほか、各機関での取組みや近況の報告等を行い、地域の医療機関、行政、福祉施設等との精神医療に関する情報交換を行った。 - 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対応マニュアル作成などの準備を行い、体制を整えた。 【患者の受入れ実績】 単位：人 <table> <tr> <th>病床\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>結核、感染症</td><td>3,072</td><td>3,361</td><td>2,957</td><td>1,603</td><td>1,365</td></tr> <tr> <td>精神科</td><td>6,937</td><td>6,220</td><td>5,900</td><td>4,842</td><td>5,421</td></tr> </table>	病床\年度	H27	H28	H29	H30	R1	結核、感染症	3,072	3,361	2,957	1,603	1,365	精神科	6,937	6,220	5,900	4,842	5,421	【手術・検査件数】 単位：件 <table> <tr> <th>区分\年</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>心カテ</td><td>976</td><td>981</td><td>1,022</td><td>1,069</td><td>893</td></tr> <tr> <td>PCI※</td><td>380</td><td>385</td><td>443</td><td>361</td><td>357</td></tr> </table> ※PCI：冠動脈形成術 【循環器系】 単位：件 <table> <tr> <th>区分\年</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>アブレーション</td><td>73</td><td>78</td><td>98</td><td>195</td><td>64</td></tr> <tr> <td>PMI※</td><td>54</td><td>64</td><td>52</td><td>71</td><td>68</td></tr> <tr> <td>ICD※</td><td>16</td><td>12</td><td>18</td><td>18</td><td>8</td></tr> </table> ※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器 【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】 <table> <tr> <th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>パス運用（単位：件）</td><td>117</td><td>92</td><td>65</td><td>25</td><td>15</td></tr> <tr> <td>登録医師数（単位：人）</td><td>72</td><td>74</td><td>73</td><td>65</td><td>65</td></tr> </table> 2 周産期医療 - 東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、産婦人科医2名を増員、新たに助産師4名を採用した。 - 東濃4市及び可茂消防本部に配備した搬送用保育器（ストレッチャー付）による、新生児救急搬送が定着し、より迅速な受け入れが可能となっている。 【周産期母子医療センターの主な実績】 <table> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>分娩件数（単位：件）</td><td>492</td><td>528</td><td>533</td><td>541</td><td>524</td></tr> <tr> <td>新生児数（単位：人）</td><td>534</td><td>563</td><td>563</td><td>577</td><td>547</td></tr> <tr> <td rowspan="3">年間入院 者数</td><td>NICU（単位：人）</td><td>264</td><td>219</td><td>219</td><td>204</td></tr> <tr> <td>GCU（単位：人）</td><td>461</td><td>444</td><td>444</td><td>390</td></tr> <tr> <td>産科（単位：人）</td><td>575</td><td>719</td><td>719</td><td>688</td></tr> <tr> <td>母胎搬送件数（単位：件）</td><td>79</td><td>92</td><td>95</td><td>76</td><td>66</td></tr> <tr> <td>新生児搬送件数（単位：件）</td><td>84</td><td>60</td><td>52</td><td>76</td><td>68</td></tr> </table>	区分\年	H27	H28	H29	H30	R1	心カテ	976	981	1,022	1,069	893	PCI※	380	385	443	361	357	区分\年	H27	H28	H29	H30	R1	アブレーション	73	78	98	195	64	PMI※	54	64	52	71	68	ICD※	16	12	18	18	8	項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1	パス運用（単位：件）	117	92	65	25	15	登録医師数（単位：人）	72	74	73	65	65	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	分娩件数（単位：件）	492	528	533	541	524	新生児数（単位：人）	534	563	563	577	547	年間入院 者数	NICU（単位：人）	264	219	219	204	GCU（単位：人）	461	444	444	390	産科（単位：人）	575	719	719	688	母胎搬送件数（単位：件）	79	92	95	76	66	新生児搬送件数（単位：件）	84	60	52	76	68		
病床\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																												
結核、感染症	3,072	3,361	2,957	1,603	1,365																																																																																																																												
精神科	6,937	6,220	5,900	4,842	5,421																																																																																																																												
区分\年	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																												
心カテ	976	981	1,022	1,069	893																																																																																																																												
PCI※	380	385	443	361	357																																																																																																																												
区分\年	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																												
アブレーション	73	78	98	195	64																																																																																																																												
PMI※	54	64	52	71	68																																																																																																																												
ICD※	16	12	18	18	8																																																																																																																												
項目\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																												
パス運用（単位：件）	117	92	65	25	15																																																																																																																												
登録医師数（単位：人）	72	74	73	65	65																																																																																																																												
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																												
分娩件数（単位：件）	492	528	533	541	524																																																																																																																												
新生児数（単位：人）	534	563	563	577	547																																																																																																																												
年間入院 者数	NICU（単位：人）	264	219	219	204																																																																																																																												
	GCU（単位：人）	461	444	444	390																																																																																																																												
	産科（単位：人）	575	719	719	688																																																																																																																												
母胎搬送件数（単位：件）	79	92	95	76	66																																																																																																																												
新生児搬送件数（単位：件）	84	60	52	76	68																																																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
			5 緩和ケア 緩和ケアセンターを活用し、退院支援カンファレンスや緩和ケアに関わる他医療機関及び多職種連携のカンファレンスを開催した。入院から在宅での緩和ケアへ円滑に移行できるよう関係機関で患者情報を共有し、連携の強化を行った。 【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td><td>8</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td></tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>緩和ケア講演会</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>緩和ケア市民公開講座</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> 【緩和ケアの患者動向】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td><td>3,227</td><td>3,237</td><td>4,011</td><td>3,433</td><td>3,427</td></tr> <tr> <td>外来患者数</td><td>125</td><td>129</td><td>143</td><td>124</td><td>155</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	緩和ケア勉強会	8	6	6	6	5	緩和ケア研修会	2	1	1	1	0	緩和ケア講演会	2	2	0	0	0	緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	入院患者数	3,227	3,237	4,011	3,433	3,427	外来患者数	125	129	143	124	155		
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																
緩和ケア勉強会	8	6	6	6	5																																																
緩和ケア研修会	2	1	1	1	0																																																
緩和ケア講演会	2	2	0	0	0																																																
緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	1																																																
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																
入院患者数	3,227	3,237	4,011	3,433	3,427																																																
外来患者数	125	129	143	124	155																																																

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。 ※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルデシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
06	※ 調査及び臨床研究等の推進 1 臨床研究及び治験の推進		1 臨床研究及び治験の推進 ・ 受託可能な案件がなく、新規受託はゼロとなった。 ・ 臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 【臨床研究及び治験件数】 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>治験実施件数</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td><td>18</td><td>21</td><td>40</td><td>30</td><td>13</td></tr> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	治験実施件数	0	1	1	3	0	臨床共同研究件数	18	21	40	30	13	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																		
治験実施件数	0	1	1	3	0																		
臨床共同研究件数	18	21	40	30	13																		
07	※ 診療情報等の活用 1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用	1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 ・ 日本病院会のQ I 事業に参加し、そのベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、関係部署にフィードバックを行い医療の質向上を図った。 ・ 診療情報・統計担当を新設し、診療に関する情報を分析・集計し、院内各部署からの集計依頼等に対応し、必要な情報が適時に提供できる体制を整えた。集計結果等は一元管理し、経営改善への指標となる数値は、職員へ随時情報提供できる仕組みを構築した。 ・ 外部委託によるデータ分析及び検証により、施設比較・課題の抽出を実施し診療報酬委員会での報告と、対策・提案等について院内研修会を開催し改善に努めた。D P C 係数、診療密度、看護必要度向上など、経営向上、医療の質向上に成果が得られ、その結果、令和2年度からD P C 特定病院群に位置付けられた。 ・ 国が研究を進めるP H R（健康・医療・介護データを本人に還元する考え方）の方針に従い、全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究事業（千年カルテプロジェクト）を主体的に運営する団体と契約を取り交わし、研究に参画した。 【看護必要度】 単位：％ <table border="1"> <tr> <th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28 ※</th><th>H29</th><th>H30 ※</th><th>R1</th></tr> <tr> <td>当院値</td><td>19.8</td><td>27.6</td><td>29.0</td><td>37.8</td><td>31.2</td></tr> <tr> <td>7 対 1 施設基準</td><td>15.0</td><td>25.0</td><td>25.0</td><td>30.0</td><td>25.0</td></tr> </table>	項目\年度	H27	H28 ※	H29	H30 ※	R1	当院値	19.8	27.6	29.0	37.8	31.2	7 対 1 施設基準	15.0	25.0	25.0	30.0	25.0		Ⅳ	診療情報の分析・活用の結果としてD P C 特定病院群の位置付けを得た実績を評価
項目\年度	H27	H28 ※	H29	H30 ※	R1																		
当院値	19.8	27.6	29.0	37.8	31.2																		
7 対 1 施設基準	15.0	25.0	25.0	30.0	25.0																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																	
		※平成 28 年度、30 年度の改定時に評価項目の大幅な変更あり (値も大きく変動) 【診療密度】 <table><tr><th>項目\改定年度</th><th>H26</th><th>H28</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>当院値</td><td>2381.11</td><td>2416.98</td><td>2386.25</td><td>2386.25</td></tr><tr><td>Ⅱ群基準値</td><td>2482.09</td><td>2513.24</td><td>2413.38</td><td>2413.38</td></tr><tr><td>対基準値 (%)</td><td>95.93</td><td>96.17</td><td>98.88</td><td>98.88</td></tr></table> 【DPC係数】 <table><tr><th>項目\年月</th><th>H27.4</th><th>H28.4 ※</th><th>H29.4</th><th>H30.4 ※</th><th>H31.4</th></tr><tr><td>基礎係数</td><td>1.0276</td><td>1.0296</td><td>1.0296</td><td>1.0314</td><td>1.0314</td></tr><tr><td>暫定調整係数</td><td>0.0432</td><td>0.0224</td><td>0.0224</td><td>0.0000</td><td>0.0000</td></tr><tr><td>機能評価係数Ⅱ</td><td>0.0643</td><td>0.0758</td><td>0.0762</td><td>0.1295</td><td>0.1275</td></tr><tr><td>計</td><td>1.1351</td><td>1.1278</td><td>1.1282</td><td>1.1609</td><td>1.1589</td></tr></table> ※改定年 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 - 日本病院会「Q I プロジェクト」に参加し、経営管理指標、患者満足度、連携先満足度や褥瘡発生率など全 40 項目のC I、Q I データについて分析をするとともに、年報やホームページ上で公開した。また、その分析結果を医療の質向上委員会で報告、検討し、PDCAサイクルに基づいた医療の質向上に努めた。 - 国や県の行うがん登録事業に継続参加し、登録件数の増加に努めた。「がん登録システム」の活用により、データ精度が向上した。また、循環器疾患等に係る事業にも参加協力するとともに日本病院会Q I 事業にも継続参加した。フィードバックされた情報を院内の関係委員会やカンファレンス等で共有し、医療の質向上に努めた。	項目\改定年度	H26	H28	H30	R1	当院値	2381.11	2416.98	2386.25	2386.25	Ⅱ群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	2413.38	対基準値 (%)	95.93	96.17	98.88	98.88	項目\年月	H27.4	H28.4 ※	H29.4	H30.4 ※	H31.4	基礎係数	1.0276	1.0296	1.0296	1.0314	1.0314	暫定調整係数	0.0432	0.0224	0.0224	0.0000	0.0000	機能評価係数Ⅱ	0.0643	0.0758	0.0762	0.1295	0.1275	計	1.1351	1.1278	1.1282	1.1609	1.1589		
項目\改定年度	H26	H28	H30	R1																																																		
当院値	2381.11	2416.98	2386.25	2386.25																																																		
Ⅱ群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	2413.38																																																		
対基準値 (%)	95.93	96.17	98.88	98.88																																																		
項目\年月	H27.4	H28.4 ※	H29.4	H30.4 ※	H31.4																																																	
基礎係数	1.0276	1.0296	1.0296	1.0314	1.0314																																																	
暫定調整係数	0.0432	0.0224	0.0224	0.0000	0.0000																																																	
機能評価係数Ⅱ	0.0643	0.0758	0.0762	0.1295	0.1275																																																	
計	1.1351	1.1278	1.1282	1.1609	1.1589																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
		【Q I 指標項目数】 単位：個 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>24</td><td>43</td><td>43</td><td>40</td><td>40</td></tr></table> 【がん登録件数】 単位：件 <table><tr><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>1,799</td><td>1,661</td><td>1,978</td></tr></table>	H27	H28	H29	H30	R1	24	43	43	40	40	H29	H30	R1	1,799	1,661	1,978			
H27	H28	H29	H30	R1																	
24	43	43	40	40																	
H29	H30	R1																			
1,799	1,661	1,978																			

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。 ※ 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。 ※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
08	※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 質の高い医療従事者の養成 2 後期研修医に対する研修等		1 質の高い医療従事者の養成 - 最新の医療技術や知識習得のため、学会や講習会への参加に必要な経費を負担するなどの支援を行った。 - 管理的業務に従事する医師、看護師等を対象としたマネジメント研修を開催し、マネジメントや人材育成に関するスキルアップを図った。 - 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による勉強会として、総合診療教育カンファレンスを開催した。(計9回実施) - 研修医を対象とした内科症例検討会(11回)、各診療科部長による実践的な講義(毎月2診療科)、早朝勉強会(月1回)	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
			を開催した。 【医師の研修派遣実績人数】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>派遣</td><td>453</td><td>424</td><td>409</td><td>510</td><td>455</td></tr></table> 【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>R01. 7. 9 R01. 8. 29</td><td>診療科部長及び 看護師長向け 階層別マネジメント研修（問題 解決、マネジメント）</td><td>(株) アクリート・ワークス 守屋 文貴 氏</td><td>48 人</td></tr><tr><td>R01. 6. 25</td><td>新任看護師長及び 副看護師長向け階層別マネジメント研修（メンタルヘルス、 ストレスマネジメント）</td><td>L L C チーム経営 広瀬 義浩 氏</td><td>26 人</td></tr><tr><td>R01. 10. 4 R01. 10. 18</td><td>師長及びチーフ （コメ・事務） 向け階層別マネジメント研修 （マネジメント、業務改善）</td><td>(株) アドプランナー 加藤 佐千雄 氏</td><td>52 人</td></tr><tr><td>R01. 10. 23</td><td>看護師、コメ及び事務 主任級 職員向け階層別 マネジメント研修（モチベーション向上、業務改善）</td><td>(株) アドプランナー 五十嵐 政信 氏</td><td>16 人</td></tr><tr><td>R01. 9. 6</td><td>看護師、コメ及</td><td>(株) アドブラ</td><td>30 人</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	派遣	453	424	409	510	455	開催日	講演会等名	講師	参加者	R01. 7. 9 R01. 8. 29	診療科部長及び 看護師長向け 階層別マネジメント研修（問題 解決、マネジメント）	(株) アクリート・ワークス 守屋 文貴 氏	48 人	R01. 6. 25	新任看護師長及び 副看護師長向け階層別マネジメント研修（メンタルヘルス、 ストレスマネジメント）	L L C チーム経営 広瀬 義浩 氏	26 人	R01. 10. 4 R01. 10. 18	師長及びチーフ （コメ・事務） 向け階層別マネジメント研修 （マネジメント、業務改善）	(株) アドプランナー 加藤 佐千雄 氏	52 人	R01. 10. 23	看護師、コメ及び事務 主任級 職員向け階層別 マネジメント研修（モチベーション向上、業務改善）	(株) アドプランナー 五十嵐 政信 氏	16 人	R01. 9. 6	看護師、コメ及	(株) アドブラ	30 人		
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																				
派遣	453	424	409	510	455																																				
開催日	講演会等名	講師	参加者																																						
R01. 7. 9 R01. 8. 29	診療科部長及び 看護師長向け 階層別マネジメント研修（問題 解決、マネジメント）	(株) アクリート・ワークス 守屋 文貴 氏	48 人																																						
R01. 6. 25	新任看護師長及び 副看護師長向け階層別マネジメント研修（メンタルヘルス、 ストレスマネジメント）	L L C チーム経営 広瀬 義浩 氏	26 人																																						
R01. 10. 4 R01. 10. 18	師長及びチーフ （コメ・事務） 向け階層別マネジメント研修 （マネジメント、業務改善）	(株) アドプランナー 加藤 佐千雄 氏	52 人																																						
R01. 10. 23	看護師、コメ及び事務 主任級 職員向け階層別 マネジメント研修（モチベーション向上、業務改善）	(株) アドプランナー 五十嵐 政信 氏	16 人																																						
R01. 9. 6	看護師、コメ及	(株) アドブラ	30 人																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																				
			<table><tr><td>R01. 9. 27</td><td>びび事務 主事 級職員向け 階層別マネジメ ント研修 (マネジメン ト、業務改善)</td><td>シナー 加藤 佐千雄 氏</td><td></td></tr></table> 【研修医を対象とした外部講師開催実績】 単位：人 <table><tr><th>講演会等名</th><th>回数</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>総合診療教育カン ファレンス</td><td>9回</td><td>名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 先生</td><td>171 人</td></tr><tr><td>総合内科診療教育 研修</td><td>11 回</td><td>AOI 名古屋病院 院長 三島 信彦 先生</td><td>54 人</td></tr></table> 【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>医師</td><td>18</td><td>21</td><td>21</td><td>23</td><td>23</td></tr><tr><td>歯科医師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table> 2 後期研修医に対する研修等 専攻医の研修の充実のため、名古屋大学を基幹施設とした研修プログラムとの連携を図るため、当院を基幹施設とする令和2年度からの研修プログラムに連携施設を追加した。 【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>医師</td><td>11</td><td>13</td><td>19</td><td>16</td><td>19</td></tr><tr><td>歯科医師</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr></table>	R01. 9. 27	びび事務 主事 級職員向け 階層別マネジメ ント研修 (マネジメン ト、業務改善)	シナー 加藤 佐千雄 氏		講演会等名	回数	講師	参加者	総合診療教育カン ファレンス	9回	名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 先生	171 人	総合内科診療教育 研修	11 回	AOI 名古屋病院 院長 三島 信彦 先生	54 人	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医師	18	21	21	23	23	歯科医師	2	2	2	2	2	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医師	11	13	19	16	19	歯科医師	1	1	1	1	3		
R01. 9. 27	びび事務 主事 級職員向け 階層別マネジメ ント研修 (マネジメン ト、業務改善)	シナー 加藤 佐千雄 氏																																																							
講演会等名	回数	講師	参加者																																																						
総合診療教育カン ファレンス	9回	名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 先生	171 人																																																						
総合内科診療教育 研修	11 回	AOI 名古屋病院 院長 三島 信彦 先生	54 人																																																						
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																				
医師	18	21	21	23	23																																																				
歯科医師	2	2	2	2	2																																																				
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																				
医師	11	13	19	16	19																																																				
歯科医師	1	1	1	1	3																																																				
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施		1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受け入れ 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から実習生や見学生を積極的に受け入れた。また、看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																												
	1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実		受け入れた。 【学生の実習受入れ状況】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>医学生</td><td>32</td><td>16</td><td>22</td><td>41</td><td>52</td></tr><tr><td>看護学生</td><td>541</td><td>380</td><td>458</td><td>505</td><td>481</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>51</td><td>57</td><td>59</td><td>69</td><td>63</td></tr><tr><td>合 計</td><td>624</td><td>453</td><td>539</td><td>615</td><td>596</td></tr></table> 【医学生の見学受入れ状況】 単位：人 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>32</td><td>67</td><td>92</td><td>108</td><td>64</td></tr></table> 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。 【救急救命士の研修実績状況】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>生涯教育実習</td><td>64</td><td>33</td><td>54</td><td>78</td><td>82</td></tr><tr><td>就業前実習</td><td>8</td><td>8</td><td>4</td><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td>気管挿管実習</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>薬剤投与実習</td><td>0</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>6</td></tr><tr><td>合 計</td><td>73</td><td>49</td><td>63</td><td>86</td><td>98</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医学生	32	16	22	41	52	看護学生	541	380	458	505	481	コメディカル	51	57	59	69	63	合 計	624	453	539	615	596	H27	H28	H29	H30	R1	32	67	92	108	64	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	生涯教育実習	64	33	54	78	82	就業前実習	8	8	4	4	8	気管挿管実習	1	2	4	2	2	薬剤投与実習	0	6	1	2	6	合 計	73	49	63	86	98		
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																												
医学生	32	16	22	41	52																																																																												
看護学生	541	380	458	505	481																																																																												
コメディカル	51	57	59	69	63																																																																												
合 計	624	453	539	615	596																																																																												
H27	H28	H29	H30	R1																																																																													
32	67	92	108	64																																																																													
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																												
生涯教育実習	64	33	54	78	82																																																																												
就業前実習	8	8	4	4	8																																																																												
気管挿管実習	1	2	4	2	2																																																																												
薬剤投与実習	0	6	1	2	6																																																																												
合 計	73	49	63	86	98																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。 ※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 ※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。 ※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援		1 地域医療水準の向上 ・ 令和元年度は3回開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用促進を図った。 ・ 各種講演会（医療安全、感染対策等）、勉強会により地域医療水準の向上に努めた。 ・ 東濃、可児地域の8病院で組織された東濃・可児地域病病連携推進会議（年2回開催）を通じ、病院間で協力、提携した診療を模索し、それぞれの医療資源を有効活用したより良い診療環境の提供について検討を行った。また県主導で地域医療構想が進められる中、各病院の機能について、今後の方向性等について意見交換を行った。 2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ・ 国民健康保険上矢作病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。 <table><thead><tr><th>派遣医療機関</th><th>派遣状況</th></tr></thead><tbody><tr><td>国民健康保険上矢作病院</td><td>週1日（当直業務） 1人（7人で交代） 延べ52人</td></tr><tr><td>土岐市立総合病院</td><td>循環器内科 4月～翌3月 毎週木曜日 2人（2人で交代） 延べ45人</td></tr></tbody></table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務） 1人（7人で交代） 延べ52人	土岐市立総合病院	循環器内科 4月～翌3月 毎週木曜日 2人（2人で交代） 延べ45人	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
派遣医療機関	派遣状況										
国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務） 1人（7人で交代） 延べ52人										
土岐市立総合病院	循環器内科 4月～翌3月 毎週木曜日 2人（2人で交代） 延べ45人										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
11	※ 社会的な要請への協力		・ 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査（精神医療審査会、警察の死体検案等）、地域イベント（陶器まつり、茶碗まつりの救護班）に協力した。 【講師等派遣の状況】単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>医師</td><td>171</td><td>188</td><td>222</td><td>179</td><td>201</td></tr><tr><td>看護師</td><td>32</td><td>33</td><td>64</td><td>55</td><td>29</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>23</td><td>18</td><td>32</td><td>46</td><td>65</td></tr><tr><td>合 計</td><td>226</td><td>239</td><td>318</td><td>280</td><td>295</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医師	171	188	222	179	201	看護師	32	33	64	55	29	コメディカル	23	18	32	46	65	合 計	226	239	318	280	295	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																														
医師	171	188	222	179	201																														
看護師	32	33	64	55	29																														
コメディカル	23	18	32	46	65																														
合 計	226	239	318	280	295																														
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供		1 公開講座、医療相談会等の開催 ・ 市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等による健康づくり講座等を行った。健康づくり講座については、17 回開催し、保健医療情報の発信、医療連携の推進に努めた。 【市民を対象とした公開講座、医療相談等開催実績】単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>公開講座等名</th><th>参加者</th></tr><tr><td>R1. 11. 2</td><td>市民公開講座 「なぜアルツハイマー認知症になるの？」 講師：公益財団法人応用生化学研究所 理事長 杉山 理 氏</td><td>104 人</td></tr><tr><td>R1. 10. 13</td><td>緩和ケア市民公開講座 「人生会議」してみませんか？ 講師：神戸大学医学部附属病院 特命教授 木澤義之</td><td>107 人</td></tr><tr><td>R1. 11. 2</td><td>秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを実施</td><td>677 人</td></tr><tr><td>年 17 回</td><td>健康づくり講座</td><td>728 人</td></tr></table>	開催日	公開講座等名	参加者	R1. 11. 2	市民公開講座 「なぜアルツハイマー認知症になるの？」 講師：公益財団法人応用生化学研究所 理事長 杉山 理 氏	104 人	R1. 10. 13	緩和ケア市民公開講座 「人生会議」してみませんか？ 講師：神戸大学医学部附属病院 特命教授 木澤義之	107 人	R1. 11. 2	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを実施	677 人	年 17 回	健康づくり講座	728 人	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価															
開催日	公開講座等名	参加者																																	
R1. 11. 2	市民公開講座 「なぜアルツハイマー認知症になるの？」 講師：公益財団法人応用生化学研究所 理事長 杉山 理 氏	104 人																																	
R1. 10. 13	緩和ケア市民公開講座 「人生会議」してみませんか？ 講師：神戸大学医学部附属病院 特命教授 木澤義之	107 人																																	
R1. 11. 2	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを実施	677 人																																	
年 17 回	健康づくり講座	728 人																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			「上手な病院のかかり方」他 2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・ 病院広報誌「けんぴょういん」を年2回発行する等、地域情報誌等やホームページを活用した広報活動等により、医療に関する情報を積極的に発信した。 ・ 外来待合モニターでは、電子カルテの更新に合わせて、医療安全の啓発や公開講座の案内などの情報を発信した。		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。 ※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、医療物資(医薬品、診療材料、給食材料など)の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 ※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。 ※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。 ※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制を整備するとともに、東濃地域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の	1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・ 大規模災害を想定し、被災により病院機能低下状況下での災害医療実施訓練や、休日などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。		Ⅳ	浸水対策として遮水壁を設置し、拠点機能を充実した実績を評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由											
	充実 2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進	- 救急医療体制、災害医療体制、感染症患者受入態勢を維持するため、必要な施設設備の維持管理を行った。令和元年度は、浸水対策として電気室への水の流入を防ぐための遮水壁を設置した。 【災害訓練の実績】 <table><tr><th></th><th>開催日</th><th>備考</th></tr><tr><td>災害実働訓練</td><td>R1. 10. 17</td><td>震度 6 弱の地震を想定。BCPの検証、エマージェンシーコールを活用した災害時の運用体制の確認</td></tr><tr><td rowspan="2">消防訓練</td><td>R1. 7. 3</td><td>集中豪雨による病院浸水を想定した訓練</td></tr><tr><td>R2. 1. 29</td><td>休日想定訓練</td></tr></table> 2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 - 関係機関と連携した災害実働訓練では、昨年度策定した診療継続計画書（BCP）を検証し、見直し事項の洗い出しを行った他、イーバックチェアの病棟への配置など備品の整備を行った。 - 有事の際の診療継続に必要なライフラインを確保するため、新棟建設においても井戸水の活用を踏まえ、ろ過システムを導入することとし水源の二重化を図る。		開催日	備考	災害実働訓練	R1. 10. 17	震度 6 弱の地震を想定。BCPの検証、エマージェンシーコールを活用した災害時の運用体制の確認	消防訓練	R1. 7. 3	集中豪雨による病院浸水を想定した訓練	R2. 1. 29	休日想定訓練			
	開催日	備考														
災害実働訓練	R1. 10. 17	震度 6 弱の地震を想定。BCPの検証、エマージェンシーコールを活用した災害時の運用体制の確認														
消防訓練	R1. 7. 3	集中豪雨による病院浸水を想定した訓練														
	R2. 1. 29	休日想定訓練														
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 DMATの質の向上と維持 2 大規模災害発生時のDMATの派遣	1 DMATの質の向上と維持 - 技能維持研修や院内のBCP訓練に参加し、質の維持と向上を図った。 2 大規模災害発生時のDMATの派遣 - DMATについては、2チームを編成し、災害派遣精神医療チーム（DPAT : Disaster Psychiatric Assistance Team）については、医師2名を指定するとともに1チームを編成して応援体制を維持した。 - 令和2年2月に新型コロナウイルス感染に伴うダイヤモンド・プリンセス号下船者への検疫活動支援等のためDMATを派遣した。		IV	DMATを派遣し、検疫活動支援等において貢献した実績を評価											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 2 診療情報のバックアップシステムの構築	1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 ・ 災害実働訓練においてBCPの検証を行い、見直しが必要となる事項の洗い出しを行った。【再掲：No.13】	2 診療情報のバックアップシステムの構築 ・ 電子カルテシステムの更新に合わせ、医療現場において専用端末のみで患者情報が得られるよう、SS-MIXの情報が閲覧できるシステムを構築し、令和2年度より実施する準備を行った。	Ⅳ	BCPの検証を、災害実働訓練で行うなど、被災時の病院機能維持の準備に取り組んでいる実績を評価						
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮	3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・ 11月6日に当院にて東濃地区ICT研究会を開催ICTメンバーが参加し情報交換を行った。また、地域連携加算施設間カンファレンスを定期的に開催し、情報交換を行った。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に際して、電子カルテの表示、メール等を活用しながら職員へ周知および体制を整備し、必要な物資および資材の備蓄等を実施した。	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・ 業務計画等に基づき、必要な資材の備蓄等の見直しや実地訓練、関係病棟スタッフの勉強会を実施し、受け入れ体制を維持した。 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・ 新型インフルエンザ等が発生した場合に受入れを行う病棟職員を対象に個人防護具の着脱訓練を実施した。 <table><tr><th>実施日</th><th>対象者</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>R1. 11. 21</td><td>感染症病床看護師</td><td>15</td></tr></table>	実施日	対象者	参加人数	R1. 11. 21	感染症病床看護師	15	Ⅳ	新型コロナウイルス感染拡大に際し、感染指定医療機関としての実績を評価
実施日	対象者	参加人数									
R1. 11. 21	感染症病床看護師	15									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの構築	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R1年度計画で特に進捗した取組/評価結果の反映状況	その他の主な取組/課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
17	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入などによる合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立	1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・ 職員のワークライフバランスや各種ハラスメント等に対する相談機能を強化するため職員相談室を設置し、201件の相談に対応した。 ・ 新中央診療棟整備に伴う診療業務の移行、医療機器の整備等を円滑に実施するために新棟準備室を設置。 ・ 診療に関する情報を分析・集計し、一元的に管理するために診療情報・分析担当を医事課に配置し、組織・業務体制の見直しを行った。【再掲：No07】 2 各種業務のIT化の推進 ・ 新医療総合情報システム(電子カルテ)が稼働し、ログイン時の指静脈による認証を導入したことで、セキュリティを向上させた。また、内視鏡情報管理システムや分娩監視システムなど特定の部門で専用端末により使用していたシステムを電子カ	3 アウトソーシング導入などによる合理化 ・ 医療機器整備計画の策定、更新にあたっては、医療経営コンサルタントの支援を受けることで、円滑な医療機器の整備に繋げている。 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントを活用した。また、委託業務評価を行い(令和元年度：施設設備管理業務・保育施設運営業務)、その評価結果に基づき契約内容を検証し、必要に応じて改善及び向上を図った。 ※平成27年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。	IV	組織体制の充実やITの推進において積極的な取組が実施できていることを評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		ルテ端末で参照できるように集約化・連携を促進した。 ・ ベッドサイドで患者情報の入力や共有が可能なピクトグラム機能付き床頭台を導入し、電子カルテと連携させることで、情報入力作業を簡素化し、看護師の業務負担の軽減を図った。【再掲：No02】 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 ・ 災害時の職員の状況把握や連絡を容易に行うため緊急連絡配信システムを導入し、同システムを使用した訓練を実施し災害時の運用体制の確認を行った。			
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 弾力的運用の実施 2 効果的な体制による医療の提供 3 3法人間の人事交流による適正な職員配置	1 弾力的運用の実施 ・ 医療連携相談課に公認心理士3名を配置し、精神科以外の患者への心理支援を拡充した。 ・ 看護師の業務負担軽減のため、非常勤で介護福祉士4名を採用し、病棟に配属した。【再掲：No03】	2 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師事務作業補助者については、3名、看護助手15名、看護福祉士5名の人員を確保し、医師等の負担軽減を図った。 3 3法人間の人事交流による適正な職員配置 ・ 岐阜県から医師1名、岐阜県総合医療センターから医師1名、看護師1名、放射線技師1名を採用。当院から岐阜県総合医療センターへ看護師1名が異動した。	III	柔軟な職員配置、介護福祉士等の採用による病棟看護師の負担軽減等、一定の成果は得られたが、項目全体としては、平年並みと評価
19	※ 人事評価システムの構築		・ 新たに非常勤職員の勤務評価を行う仕組みを加え、優秀な職員へ主任手当(月額1万円)を支給したことにより、非常勤職員の就労意欲の向上につながった。 ・ 業務貢献手当は、419名に対して支給し、医療従事者確保と勤労意欲の向上に貢献した。	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
20	※ 事務部門の専門性の向上		・ 事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施し、職員の資質向上を図った。階層別マネジメント研修として、チーフ級職員及び主任級、主事級職員を対象とした研修を実施した。 【新規採用職員の主な研修】 ①マナー・コミュニケーション研修 ②ワークショップ研修～配属からこれまでを振り返って	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由						
			【階層別マネジメント研修】 ＜チーフ級職員＞ 対象者数：52 人（うち事務職員 12 人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：マネジメント力、交渉力・調整力の向上 ＜主任級職員＞ 対象者数：16 人（うち事務職員 3 人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：モチベーション、業務改善力、交渉・調整能力の向上 ＜主事級職員＞ 対象者数：30 人（うち事務職員 2 人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：自分自身の役割や求められる能力、より良い組織づくりに必要なことについて ・ 事務部門の専門性の向上を図るため診療情報管理士、医療経営士の資格取得を支援しており、4 名が診療情報管理士の講座を受講し、1 名が医療経営士 3 級を取得した。								
21	※ コンプライアンス（法令や倫理の遵守）の徹底		・ 地方独立行政法人法の改正に伴う内部統制の体制整備を進め、業務運営上のリスクの選別、評価、及び関係規程の整備を完了し、令和 2 年度から内部統制の継続的な運用ができるようにした。 ・ 監事監査や内部監査による確認指導に加え、新規採用職員に対するコンプライアンス研修を実施し、当院の職員としての意識啓発及び周知徹底を行った。 【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催期間</th><th>講師・開催回数</th><th>参加者</th></tr><tr><td>H31. 4. 1</td><td>講師：総務課長</td><td>85</td></tr></table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	H31. 4. 1	講師：総務課長	85	Ⅲ	内部統制の体制整備の取組を進めているが、全体としては、平年並みの実績と評価
開催期間	講師・開催回数	参加者									
H31. 4. 1	講師：総務課長	85									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
22	※ 適切な情報管理		- 医療総合情報システム（電子カルテ）の更新に際して、情報セキュリティ上の懸案事項について詳細に検討を行い、院内の各種委員会において説明を行った。 - 稼働に向けては、平成31年3月と4月に、新システムの操作訓練や、休診日に合わせて外来全体リハーサルを実施した。	III	新システム稼働に向けての取組を実施したが、全体としては、平年並みの実績と評価

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。 ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。				
----------	---	--	--	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
23	※ 多様な契約手法の導入	- 施設管理業務委託について、複数の包括契約により、業務間の連携や効率化を図った。 - 高額医療機器については、メンテナンス費用や耐用年数等を勘案し、購入以外にリース契約を選択肢として、より効果的な契約方法を検討し、競争性を担保するため、2業者以上の機種選定やベンチマークシステムの活用により、経費の節減を図った。 - 新中央診療棟建設工事の契約手法を検討するにあたり、専門業者のノウハウを活用するため、コンストラクションマネジメント業務（建設プロジェクトのスケジュール、コスト、品質等の管理を行う業務）をプロポーザルにより選定し、委託した。		IV	建設工事の契約手法を検討するために新たな手法を導入するなど契約多様化の実績を評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																										
24	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 2 未収金の発生防止対策等 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 ・ DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより、診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。 ※ DPC機能評価係数Ⅱ H27 年度係数 0.0643 H28 年度係数 0.0758 H29 年度係数 0.0762 H30 年度係数 0.1295 R 1 年度係数 0.1227(※消費税率変更に伴う修正後) 【病床管理状況】 <table><tr><th colspan="2">項目＼年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td colspan="2">新規入院患者(単位:人)</td><td>13,886</td><td>14,498</td><td>14,781</td><td>14,654</td></tr><tr><td colspan="2">延入院患者(単位:人)</td><td>172,398</td><td>176,770</td><td>167,723</td><td>165,889</td></tr><tr><td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td><td>全体</td><td>11.4</td><td>11.2</td><td>10.4</td><td>10.3</td></tr><tr><td>一般</td><td>10.8</td><td>10.6</td><td>9.9</td><td>9.9</td></tr><tr><td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td><td>全体</td><td>65,152</td><td>66,161</td><td>71,328</td><td>71,960</td></tr><tr><td>一般</td><td>67,672</td><td>68,689</td><td>73,681</td><td>74,227</td></tr></table> (参考) <table><tr><th colspan="2">項目＼年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td colspan="2">一日当たり外来患者数 (単位:人)</td><td>1,119</td><td>1,115</td><td>1,139</td><td>1,128</td></tr><tr><td colspan="2">一人当たり外来単価 (単位:円)</td><td>16,990</td><td>17,575</td><td>18,207</td><td>19,638</td></tr></table>	項目＼年度		H28	H29	H30	R1	新規入院患者(単位:人)		13,886	14,498	14,781	14,654	延入院患者(単位:人)		172,398	176,770	167,723	165,889	平均在院日数 (単位:日)	全体	11.4	11.2	10.4	10.3	一般	10.8	10.6	9.9	9.9	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	65,152	66,161	71,328	71,960	一般	67,672	68,689	73,681	74,227	項目＼年度		H28	H29	H30	R1	一日当たり外来患者数 (単位:人)		1,119	1,115	1,139	1,128	一人当たり外来単価 (単位:円)		16,990	17,575	18,207	19,638	2 未収金の発生防止対策等 ・ 医療相談担当と医事担当との連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入を行った。 ・ 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。 【未収金の発生状況】 (各年度末時点※) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">H28</th><th colspan="2">H29</th><th colspan="2">H30</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年分</td><td>422</td><td>29,625</td><td>315</td><td>30,815</td><td>279</td><td>26,132</td></tr><tr><td>現年分</td><td>582</td><td>22,760</td><td>487</td><td>22,584</td><td>314</td><td>19,910</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,004</td><td>52,385</td><td>802</td><td>53,399</td><td>593</td><td>46,042</td></tr></table> ※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">R1</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年分</td><td>281</td><td>21,386</td></tr><tr><td>現年分</td><td>511</td><td>22,485</td></tr><tr><td>合計</td><td>792</td><td>43,871</td></tr></table> 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 ・ 診療報酬改定にあたり、各種説明会への参加等により、中央社会保険医療協議会での検討状況等の早期把握に努め、診療報酬委員会等で情報提供を行うと同時に、関係部署と連携を図り、新規施設基準対策を図った。		H28		H29		H30		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132	現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910	合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042		R1		件数 (件)	金額 (千円)	過年分	281	21,386	現年分	511	22,485	合計	792	43,871	Ⅲ	DPC分析等の効果によりDPC機能評価係数を引き上げたことが評価できるが、収入の確保の観点からは、平年並みの実績と評価
項目＼年度		H28	H29	H30	R1																																																																																																										
新規入院患者(単位:人)		13,886	14,498	14,781	14,654																																																																																																										
延入院患者(単位:人)		172,398	176,770	167,723	165,889																																																																																																										
平均在院日数 (単位:日)	全体	11.4	11.2	10.4	10.3																																																																																																										
	一般	10.8	10.6	9.9	9.9																																																																																																										
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	65,152	66,161	71,328	71,960																																																																																																										
	一般	67,672	68,689	73,681	74,227																																																																																																										
項目＼年度		H28	H29	H30	R1																																																																																																										
一日当たり外来患者数 (単位:人)		1,119	1,115	1,139	1,128																																																																																																										
一人当たり外来単価 (単位:円)		16,990	17,575	18,207	19,638																																																																																																										
	H28		H29		H30																																																																																																										
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																																																									
過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132																																																																																																									
現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910																																																																																																									
合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042																																																																																																									
	R1																																																																																																														
	件数 (件)	金額 (千円)																																																																																																													
過年分	281	21,386																																																																																																													
現年分	511	22,485																																																																																																													
合計	792	43,871																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																															
25	※ 費用の削減 1 在庫管理の徹底などによる費用の削減 2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用	1 在庫管理の徹底などによる費用の削減 - 物品の使用期限管理をするため、バーコードを読み取りシステム内に期限を落とし込むことを可能としたため、運用を具体化させ、次年度に稼働させることとする。 - 医薬品のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、医薬品及び診療材料にかかる費用の削減に努めた。 ※削減額（年間予定数量ベース） - 薬品費：約 5,500 万円 【医薬収益に対する材料費比率】 単位：％ <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>15.62</td><td>16.10</td><td>15.91</td><td>16.11</td><td>17.77</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>10.12</td><td>9.73</td><td>10.34</td><td>11.09</td><td>10.73</td></tr><tr><td>材料費全体</td><td>26.03</td><td>26.39</td><td>26.32</td><td>27.26</td><td>28.58</td></tr></table> 【薬品費及び診療材料費】 単位：千円 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>2,619,397</td><td>2,689,702</td><td>2,812,655</td><td>3,153,092</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>1,582,848</td><td>1,747,406</td><td>1,935,321</td><td>1,903,765</td></tr></table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	薬品費	15.62	16.10	15.91	16.11	17.77	診療材料費	10.12	9.73	10.34	11.09	10.73	材料費全体	26.03	26.39	26.32	27.26	28.58	区分＼年度	H28	H29	H30	R1	薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	3,153,092	診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	1,903,765	2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用 医薬品納入業者に採用薬品に対する後発医薬品の提案を求め、実質的な薬品費削減効果も考慮しながら、薬剤部主導で後発品の切り替え等を行った。 【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：％ <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>品目ベース</td><td>69.90</td><td>70.56</td><td>72.60</td><td>70.91</td><td>—</td></tr><tr><td>数量ベース</td><td>82.44</td><td>89.55</td><td>93.05</td><td>88.11</td><td>91.89</td></tr><tr><td>金額ベース</td><td>35.70</td><td>38.04</td><td>34.60</td><td>38.85</td><td>—</td></tr></table> ※使用比率は後発医薬品がある中での割合 ※R 1 年度の「品目ベース」「金額ベース」は、電子カルテ変更の為、算定できなかった。	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	品目ベース	69.90	70.56	72.60	70.91	—	数量ベース	82.44	89.55	93.05	88.11	91.89	金額ベース	35.70	38.04	34.60	38.85	—	Ⅲ	ベンチマーク等による分析、医療コンサルタントの活用による材料費の削減等、継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																															
薬品費	15.62	16.10	15.91	16.11	17.77																																																															
診療材料費	10.12	9.73	10.34	11.09	10.73																																																															
材料費全体	26.03	26.39	26.32	27.26	28.58																																																															
区分＼年度	H28	H29	H30	R1																																																																
薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	3,153,092																																																																
診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	1,903,765																																																																
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																															
品目ベース	69.90	70.56	72.60	70.91	—																																																															
数量ベース	82.44	89.55	93.05	88.11	91.89																																																															
金額ベース	35.70	38.04	34.60	38.85	—																																																															

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率 100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医薬収益比率 職員給与費対医薬収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																				
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率を 50%以下とすることを旨とする。		・ 給与費及び材料費の増により、経常収支比率 95.5%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の 50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>経常収支</td><td>100.5</td><td>100.7</td><td>102.0</td><td>100.2</td><td>95.5</td></tr><tr><td>職員給与費</td><td>51.5</td><td>51.7</td><td>51.0</td><td>52.5</td><td>54.4</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	経常収支	100.5	100.7	102.0	100.2	95.5	職員給与費	51.5	51.7	51.0	52.5	54.4	Ⅱ	独法化以降初めての赤字を計上した。																																																																																																		
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																				
経常収支	100.5	100.7	102.0	100.2	95.5																																																																																																																				
職員給与費	51.5	51.7	51.0	52.5	54.4																																																																																																																				
1 予算 (単位：百万円)			1 決算 (単位：百万円)																																																																																																																						
<table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>19,095</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>17,906</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,088</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>101</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>126</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>26</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>100</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>952</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>605</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>332</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>15</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>20,173</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>17,439</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>16,684</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>8,974</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>4,880</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2,756</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>74</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>755</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>580</td></tr><tr><td> 経費</td><td>175</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>87</td></tr><tr><td> 資本支出</td><td>2,346</td></tr><tr><td> 建設改良費</td><td>788</td></tr><tr><td> 償還金</td><td>479</td></tr></table>		区 分	金 額	収入		営業収益	19,095	医業収益	17,906	運営費負担金収益	1,088	その他営業収益	101	営業外収益	126	運営費負担金収益	26	その他営業外収益	100	資本収入	952	長期借入金	605	運営費負担金	332	その他資本収入	15	その他の収入	0	計	20,173	支出		営業費用	17,439	医業費用	16,684	給与費	8,974	材料費	4,880	経費	2,756	研究研修費	74	一般管理費	755	給与費	580	経費	175	営業外費用	87	資本支出	2,346	建設改良費	788	償還金	479		<table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>20,754</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>19,535</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,130</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>89</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>103</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>13</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>90</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>1,334</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>839</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>332</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>163</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>1</td></tr><tr><td> 計</td><td>22,192</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>18,140</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>17,531</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>8,979</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>5,565</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2,929</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>58</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>609</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>434</td></tr><tr><td> 経費</td><td>175</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>86</td></tr><tr><td> 資本支出</td><td>2,223</td></tr><tr><td> 建設改良費</td><td>1,248</td></tr><tr><td> 償還金</td><td>481</td></tr></table>	区 分	金 額	収入		営業収益	20,754	医業収益	19,535	運営費負担金収益	1,130	その他営業収益	89	営業外収益	103	運営費負担金収益	13	その他営業外収益	90	資本収入	1,334	長期借入金	839	運営費負担金	332	その他資本収入	163	その他の収入	1	計	22,192	支出		営業費用	18,140	医業費用	17,531	給与費	8,979	材料費	5,565	経費	2,929	研究研修費	58	一般管理費	609	給与費	434	経費	175	営業外費用	86	資本支出	2,223	建設改良費	1,248	償還金	481		
区 分	金 額																																																																																																																								
収入																																																																																																																									
営業収益	19,095																																																																																																																								
医業収益	17,906																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,088																																																																																																																								
その他営業収益	101																																																																																																																								
営業外収益	126																																																																																																																								
運営費負担金収益	26																																																																																																																								
その他営業外収益	100																																																																																																																								
資本収入	952																																																																																																																								
長期借入金	605																																																																																																																								
運営費負担金	332																																																																																																																								
その他資本収入	15																																																																																																																								
その他の収入	0																																																																																																																								
計	20,173																																																																																																																								
支出																																																																																																																									
営業費用	17,439																																																																																																																								
医業費用	16,684																																																																																																																								
給与費	8,974																																																																																																																								
材料費	4,880																																																																																																																								
経費	2,756																																																																																																																								
研究研修費	74																																																																																																																								
一般管理費	755																																																																																																																								
給与費	580																																																																																																																								
経費	175																																																																																																																								
営業外費用	87																																																																																																																								
資本支出	2,346																																																																																																																								
建設改良費	788																																																																																																																								
償還金	479																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収入																																																																																																																									
営業収益	20,754																																																																																																																								
医業収益	19,535																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,130																																																																																																																								
その他営業収益	89																																																																																																																								
営業外収益	103																																																																																																																								
運営費負担金収益	13																																																																																																																								
その他営業外収益	90																																																																																																																								
資本収入	1,334																																																																																																																								
長期借入金	839																																																																																																																								
運営費負担金	332																																																																																																																								
その他資本収入	163																																																																																																																								
その他の収入	1																																																																																																																								
計	22,192																																																																																																																								
支出																																																																																																																									
営業費用	18,140																																																																																																																								
医業費用	17,531																																																																																																																								
給与費	8,979																																																																																																																								
材料費	5,565																																																																																																																								
経費	2,929																																																																																																																								
研究研修費	58																																																																																																																								
一般管理費	609																																																																																																																								
給与費	434																																																																																																																								
経費	175																																																																																																																								
営業外費用	86																																																																																																																								
資本支出	2,223																																																																																																																								
建設改良費	1,248																																																																																																																								
償還金	481																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																				
	<table><tr><td></td><td>その他資本支出</td><td>1, 0 7 9</td></tr><tr><td></td><td>その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1 9, 8 7 2</td></tr></table> (注記 略)		その他資本支出	1, 0 7 9		その他の支出	0		計	1 9, 8 7 2		<table><tr><td></td><td>その他資本支出</td><td>4 9 4</td></tr><tr><td></td><td>その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>2 0, 4 4 9</td></tr></table> (注記 略)		その他資本支出	4 9 4		その他の支出	0		計	2 0, 4 4 9																																																																																																				
	その他資本支出	1, 0 7 9																																																																																																																							
	その他の支出	0																																																																																																																							
	計	1 9, 8 7 2																																																																																																																							
	その他資本支出	4 9 4																																																																																																																							
	その他の支出	0																																																																																																																							
	計	2 0, 4 4 9																																																																																																																							
	2 収支計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収益の部</td><td>1 9, 2 2 0</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>1 9, 0 6 4</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>1 7, 8 7 1</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1, 0 8 8</td></tr><tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>9 9</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>1 5 6</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>2 6</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>1 3 0</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>1 9, 2 7 4</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>1 8, 5 6 8</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>1 7, 8 0 6</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>9, 0 0 0</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>4, 8 2 0</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2, 5 6 4</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>1, 3 5 3</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>6 9</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>7 6 2</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>5 7 6</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>2 5</td></tr><tr><td> 経費</td><td>1 6 1</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>7 0 6</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>0</td></tr><tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純利益</td><td>▲ 5 4</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総利益</td><td>▲ 5 4</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	収益の部	1 9, 2 2 0	営業収益	1 9, 0 6 4	医業収益	1 7, 8 7 1	運営費負担金収益	1, 0 8 8	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	9 9	営業外収益	1 5 6	運営費負担金収益	2 6	その他営業外収益	1 3 0	臨時利益	0	費用の部	1 9, 2 7 4	営業費用	1 8, 5 6 8	医業費用	1 7, 8 0 6	給与費	9, 0 0 0	材料費	4, 8 2 0	経費	2, 5 6 4	減価償却費	1, 3 5 3	研究研修費	6 9	一般管理費	7 6 2	給与費	5 7 6	減価償却費	2 5	経費	1 6 1	営業外費用	7 0 6	臨時損失	0	予備費	0	純利益	▲ 5 4	目的積立金取崩額	0	総利益	▲ 5 4		2 収支計画に対する実績 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収益の部</td><td>1 9, 0 2 3</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>1 8, 9 2 5</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>1 7, 7 4 0</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1, 0 9 0</td></tr><tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>8 9</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>9 7</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>2 6</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>7 1</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>1</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>2 0, 2 4 8</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>1 9, 0 1 0</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>1 8, 3 5 0</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>9, 1 7 7</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>5, 0 7 1</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2, 7 0 6</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>1, 3 4 6</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>5 0</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>6 6 0</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>4 6 7</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>3 3</td></tr><tr><td> 経費</td><td>1 6 0</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>9 1 1</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>3 2 7</td></tr><tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純損失</td><td>▲ 1, 2 2 5</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総損失</td><td>▲ 1, 2 2 5</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	収益の部	1 9, 0 2 3	営業収益	1 8, 9 2 5	医業収益	1 7, 7 4 0	運営費負担金収益	1, 0 9 0	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	8 9	営業外収益	9 7	運営費負担金収益	2 6	その他営業外収益	7 1	臨時利益	1	費用の部	2 0, 2 4 8	営業費用	1 9, 0 1 0	医業費用	1 8, 3 5 0	給与費	9, 1 7 7	材料費	5, 0 7 1	経費	2, 7 0 6	減価償却費	1, 3 4 6	研究研修費	5 0	一般管理費	6 6 0	給与費	4 6 7	減価償却費	3 3	経費	1 6 0	営業外費用	9 1 1	臨時損失	3 2 7	予備費	0	純損失	▲ 1, 2 2 5	目的積立金取崩額	0	総損失	▲ 1, 2 2 5		
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	1 9, 2 2 0																																																																																																																								
営業収益	1 9, 0 6 4																																																																																																																								
医業収益	1 7, 8 7 1																																																																																																																								
運営費負担金収益	1, 0 8 8																																																																																																																								
資産見返負債戻入	6																																																																																																																								
その他営業収益	9 9																																																																																																																								
営業外収益	1 5 6																																																																																																																								
運営費負担金収益	2 6																																																																																																																								
その他営業外収益	1 3 0																																																																																																																								
臨時利益	0																																																																																																																								
費用の部	1 9, 2 7 4																																																																																																																								
営業費用	1 8, 5 6 8																																																																																																																								
医業費用	1 7, 8 0 6																																																																																																																								
給与費	9, 0 0 0																																																																																																																								
材料費	4, 8 2 0																																																																																																																								
経費	2, 5 6 4																																																																																																																								
減価償却費	1, 3 5 3																																																																																																																								
研究研修費	6 9																																																																																																																								
一般管理費	7 6 2																																																																																																																								
給与費	5 7 6																																																																																																																								
減価償却費	2 5																																																																																																																								
経費	1 6 1																																																																																																																								
営業外費用	7 0 6																																																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純利益	▲ 5 4																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総利益	▲ 5 4																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	1 9, 0 2 3																																																																																																																								
営業収益	1 8, 9 2 5																																																																																																																								
医業収益	1 7, 7 4 0																																																																																																																								
運営費負担金収益	1, 0 9 0																																																																																																																								
資産見返負債戻入	6																																																																																																																								
その他営業収益	8 9																																																																																																																								
営業外収益	9 7																																																																																																																								
運営費負担金収益	2 6																																																																																																																								
その他営業外収益	7 1																																																																																																																								
臨時利益	1																																																																																																																								
費用の部	2 0, 2 4 8																																																																																																																								
営業費用	1 9, 0 1 0																																																																																																																								
医業費用	1 8, 3 5 0																																																																																																																								
給与費	9, 1 7 7																																																																																																																								
材料費	5, 0 7 1																																																																																																																								
経費	2, 7 0 6																																																																																																																								
減価償却費	1, 3 4 6																																																																																																																								
研究研修費	5 0																																																																																																																								
一般管理費	6 6 0																																																																																																																								
給与費	4 6 7																																																																																																																								
減価償却費	3 3																																																																																																																								
経費	1 6 0																																																																																																																								
営業外費用	9 1 1																																																																																																																								
臨時損失	3 2 7																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純損失	▲ 1, 2 2 5																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総損失	▲ 1, 2 2 5																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	3 資金計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>30,102</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>19,221</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>17,906</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,114</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>201</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>79</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>64</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>15</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>873</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>605</td></tr><tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>268</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>9,929</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>30,102</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>17,528</td></tr><tr><td> 給与費支出</td><td>9,555</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>4,880</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>3,093</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>1,987</td></tr><tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>908</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>1,079</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>479</td></tr><tr><td> 長期借入金の返済による支出</td><td>237</td></tr><tr><td> 移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>242</td></tr><tr><td> その他財務活動による支出</td><td>0</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>10,108</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	30,102	業務活動による収入	19,221	診療業務による収入	17,906	運営費負担金による収入	1,114	その他の業務活動による収入	201	投資活動による収入	79	運営費負担金による収入	64	その他の投資活動による収入	15	財務活動による収入	873	長期借入による収入	605	その他の財務活動による収入	268	前事業年度からの繰越金	9,929	資金支出	30,102	業務活動による支出	17,528	給与費支出	9,555	材料費支出	4,880	その他の業務活動による支出	3,093	投資活動による支出	1,987	有形固定資産の取得による支出	908	その他の投資活動による支出	1,079	財務活動による支出	479	長期借入金の返済による支出	237	移前地方債償還義務の償還による支出	242	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	10,108		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>39,674</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>19,151</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>17,679</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,115</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>357</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>9,237</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>64</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>9,173</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>1,107</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>839</td></tr><tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>268</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>10,179</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>39,674</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>18,633</td></tr><tr><td> 給与費支出</td><td>7,867</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>5,581</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>5,185</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>10,824</td></tr><tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>1,332</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>9,492</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>496</td></tr><tr><td> 長期借入金の返済による支出</td><td>237</td></tr><tr><td> 移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>242</td></tr><tr><td> その他財務活動による支出</td><td>17</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>9,721</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	39,674	業務活動による収入	19,151	診療業務による収入	17,679	運営費負担金による収入	1,115	その他の業務活動による収入	357	投資活動による収入	9,237	運営費負担金による収入	64	その他の投資活動による収入	9,173	財務活動による収入	1,107	長期借入による収入	839	その他の財務活動による収入	268	前事業年度からの繰越金	10,179	資金支出	39,674	業務活動による支出	18,633	給与費支出	7,867	材料費支出	5,581	その他の業務活動による支出	5,185	投資活動による支出	10,824	有形固定資産の取得による支出	1,332	その他の投資活動による支出	9,492	財務活動による支出	496	長期借入金の返済による支出	237	移前地方債償還義務の償還による支出	242	その他財務活動による支出	17	翌事業年度への繰越金	9,721		
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	30,102																																																																																																												
業務活動による収入	19,221																																																																																																												
診療業務による収入	17,906																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,114																																																																																																												
その他の業務活動による収入	201																																																																																																												
投資活動による収入	79																																																																																																												
運営費負担金による収入	64																																																																																																												
その他の投資活動による収入	15																																																																																																												
財務活動による収入	873																																																																																																												
長期借入による収入	605																																																																																																												
その他の財務活動による収入	268																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	9,929																																																																																																												
資金支出	30,102																																																																																																												
業務活動による支出	17,528																																																																																																												
給与費支出	9,555																																																																																																												
材料費支出	4,880																																																																																																												
その他の業務活動による支出	3,093																																																																																																												
投資活動による支出	1,987																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	908																																																																																																												
その他の投資活動による支出	1,079																																																																																																												
財務活動による支出	479																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	237																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	242																																																																																																												
その他財務活動による支出	0																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	10,108																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	39,674																																																																																																												
業務活動による収入	19,151																																																																																																												
診療業務による収入	17,679																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,115																																																																																																												
その他の業務活動による収入	357																																																																																																												
投資活動による収入	9,237																																																																																																												
運営費負担金による収入	64																																																																																																												
その他の投資活動による収入	9,173																																																																																																												
財務活動による収入	1,107																																																																																																												
長期借入による収入	839																																																																																																												
その他の財務活動による収入	268																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	10,179																																																																																																												
資金支出	39,674																																																																																																												
業務活動による支出	18,633																																																																																																												
給与費支出	7,867																																																																																																												
材料費支出	5,581																																																																																																												
その他の業務活動による支出	5,185																																																																																																												
投資活動による支出	10,824																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	1,332																																																																																																												
その他の投資活動による支出	9,492																																																																																																												
財務活動による支出	496																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	237																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	242																																																																																																												
その他財務活動による支出	17																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	9,721																																																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	一	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当 該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	一	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保 に供しようとするときは、その計 画		・ 該当なし	一	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	一	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																															
27	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実 3 院内保育施設の充実	1 職員の就労環境の整備 ・ 平成 30 年度に新設したワークライフバランス休暇（特別休暇）は、職員への周知と取得促進を図るため、年次有給休暇に加算する運用変更を行うことで、休暇を取りやすくした。 ・ 福利厚生では、職員食堂における特別メニュー、イベントメニューを企画するなどメニューの充実に努め、食堂利用者が増加、院内売店は、フランチャイズ方式のコンビニエンスストア化により利便性の向上を図った。 ・ 職員のワークライフバランスや各種ハラスメント等に対する相談機能を強化するため職員相談室の設置し、201 件の相談に対応した。【再掲：No.17】 【有給休暇取得率】 単位：％ <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>年次休暇</td><td>27.5</td><td>25.9</td><td>25.5</td><td>44.4</td></tr><tr><td>特別休暇</td><td>87.6</td><td>83.9</td><td>90.4</td><td>－</td></tr></table> ※R 1 年度に特別休暇（WLB 休暇）を年次休暇に加算 【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>27</td><td>29</td><td>35</td><td>32</td><td>39</td></tr></table>	区分＼年度	H28	H29	H30	R1	年次休暇	27.5	25.9	25.5	44.4	特別休暇	87.6	83.9	90.4	－	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	利用者数	27	29	35	32	39	2 職員の健康管理対策の充実 ・ 全職員を対象にメンタルヘルス講習会を実施した。 ・ 前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行う等、健康管理対策の充実に努めた。 【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>15</td><td>13</td><td>7</td></tr></table> 【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>88</td><td>78</td><td>92</td><td>117</td><td>110</td></tr></table>	H27	H28	H29	H30	R1	9	10	15	13	7	H27	H28	H29	H30	R1	88	78	92	117	110	IV	院内保育施設の新築移転、特別休暇の運用、職員食堂のメニュー充実など職員の就労環境の向上に向けた取り組みを評価
区分＼年度	H28	H29	H30	R1																																																
年次休暇	27.5	25.9	25.5	44.4																																																
特別休暇	87.6	83.9	90.4	－																																																
区分＼年度	H27	H28	H29	H30	R1																																															
利用者数	27	29	35	32	39																																															
H27	H28	H29	H30	R1																																																
9	10	15	13	7																																																
H27	H28	H29	H30	R1																																																
88	78	92	117	110																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																											
		【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クランク)</td><td>43</td><td>37</td><td>37</td><td>38</td><td>42</td></tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クランク)</td><td>12</td><td>11</td><td>16</td><td>16</td><td>19</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>55</td><td>48</td><td>53</td><td>54</td><td>61</td></tr> </tbody> </table> 3 院内保育施設の充実 平成 31 年 3 月に移転新築した院内保育施設は、施設の定員を 45 名から 60 名に増員し、夜間保育、休日保育等の利便性向上にも引き続き努め、利用者が増加している。 【院内保育状況】 単位：人・日（各年度末時点） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分\年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">入所者数</td><td>54</td><td>52</td><td>47</td><td>51</td></tr> <tr> <td rowspan="2">夜間保育</td><td>利用者数</td><td>87</td><td>103</td><td>16</td><td>47</td></tr> <tr> <td>対応曜日</td><td>木曜日</td><td>木曜日</td><td>木曜日</td><td>木曜日</td></tr> <tr> <td colspan="2">休日保育日数</td><td>114</td><td>102</td><td>110</td><td>119</td></tr> <tr> <td colspan="2">病児保育利用（延人数）</td><td>88</td><td>75</td><td>104</td><td>138</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医師事務作業補助者 (医療クランク)	43	37	37	38	42	病棟事務補助者 (看護クランク)	12	11	16	16	19	合 計	55	48	53	54	61	区分\年度		H28	H29	H30	R1	入所者数		54	52	47	51	夜間保育	利用者数	87	103	16	47	対応曜日	木曜日	木曜日	木曜日	木曜日	休日保育日数		114	102	110	119	病児保育利用（延人数）		88	75	104	138			
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																											
医師事務作業補助者 (医療クランク)	43	37	37	38	42																																																											
病棟事務補助者 (看護クランク)	12	11	16	16	19																																																											
合 計	55	48	53	54	61																																																											
区分\年度		H28	H29	H30	R1																																																											
入所者数		54	52	47	51																																																											
夜間保育	利用者数	87	103	16	47																																																											
	対応曜日	木曜日	木曜日	木曜日	木曜日																																																											
休日保育日数		114	102	110	119																																																											
病児保育利用（延人数）		88	75	104	138																																																											
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政 法人との連携に関する事項		新中央診療棟整備事業について、県の関係課から法規制、発注業務に関して指導助言を受けるとともに、県へ適時、進捗状況を報告した。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																											
29	※ 施設・医療機器の整備に関する 事項 1 医療機器の計画的な更新・整備 2 質の高い医療をするための新 中央診療棟の整備	1 医療機器の計画的な更新・整備 医療機器の整備については、新中央診療棟整備も踏まえ、過剰なものとならないよう、現場を熟知する臨床工学部と連携し、整備の必要性・妥当性を検証しながら整備を進める一方、複数診療科による医療機器の共同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図る。 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td><td>526</td><td>246</td><td>177</td><td>183</td><td>260</td></tr> <tr> <td>施設等整備</td><td>318</td><td>370</td><td>38</td><td>306</td><td>115</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1	医療機器等整備	526	246	177	183	260	施設等整備	318	370	38	306	115		Ⅳ	新中央診療棟整備に向け、関連事業も含め、着実に遂行していることを評価。																																									
区分\年度	H27	H28	H29	H30	R1																																																											
医療機器等整備	526	246	177	183	260																																																											
施設等整備	318	370	38	306	115																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況						その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		合 計	844	616	215	489	375			
		2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備 - 医療環境の変化に柔軟に対応できるよう、院内各部門の意見・要望を反映した実施設計書を8月に策定し、9月からはコンストラクションマネジメント業者を活用しながら市況調査、設計仕様の検証を行い、令和2年3月に、建設工事の発注方針を公表した。 - 新中央診療棟整備に伴う立体駐車場整備は、2棟のうち西側1棟について建設工事に着手した。完成は令和2年8月を予定している。 - 関連事業の市道拡張整備については、用地買収が完了し、一部工事に着手した。 - 新棟開設ビジョン（診療・経営ビジョン2025）を12月に策定し、院内の説明会を開催し経営計画や目標の共有化を図った。また、ビジョン達成のアクションプランの骨子を取りまとめた。 - 新医療総合情報システム（電子カルテ）の更新に際しては、新中央診療棟整備、管理棟改装における関連機器の初期及び保守費用まで視野に入れたものとし、プロポーザルにより業者選定を行い、整備を進めた。								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																		
30	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		・ 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。 【企業債償還額（元本）】（単位：百万円） <table><tr><th>償還月</th><th>金 額</th></tr><tr><td>9 月</td><td>278</td></tr><tr><td>3 月</td><td>201</td></tr><tr><td>計</td><td>479</td></tr></table> 【債務の償還状況（合計）】（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>3,603</td></tr><tr><td>H27</td><td>485</td></tr><tr><td>H28</td><td>589</td></tr><tr><td>H29</td><td>523</td></tr><tr><td>H30</td><td>558</td></tr><tr><td>R 1</td><td>479</td></tr></table> (内訳) 移行前地方債償還債務（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>3,211</td></tr><tr><td>H27</td><td>297</td></tr><tr><td>H28</td><td>307</td></tr><tr><td>H29</td><td>316</td></tr><tr><td>H30</td><td>323</td></tr><tr><td>R 1</td><td>242</td></tr></table> 長期借入金償還額（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>392</td></tr><tr><td>H27</td><td>188</td></tr><tr><td>H28</td><td>282</td></tr><tr><td>H29</td><td>207</td></tr><tr><td>H30</td><td>235</td></tr><tr><td>R 1</td><td>237</td></tr></table>	償還月	金 額	9 月	278	3 月	201	計	479	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	3,603	H27	485	H28	589	H29	523	H30	558	R 1	479	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	3,211	H27	297	H28	307	H29	316	H30	323	R 1	242	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	392	H27	188	H28	282	H29	207	H30	235	R 1	237	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金 額																																																						
9 月	278																																																						
3 月	201																																																						
計	479																																																						
年度	実績																																																						
第 1 期中期計画期間計	3,603																																																						
H27	485																																																						
H28	589																																																						
H29	523																																																						
H30	558																																																						
R 1	479																																																						
年度	実績																																																						
第 1 期中期計画期間計	3,211																																																						
H27	297																																																						
H28	307																																																						
H29	316																																																						
H30	323																																																						
R 1	242																																																						
年度	実績																																																						
第 1 期中期計画期間計	392																																																						
H27	188																																																						
H28	282																																																						
H29	207																																																						
H30	235																																																						
R 1	237																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 1 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
31	※ 積立金の使途		・ 前期中期目標期間における積立金については、今後発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	Ⅲ	計画に則って資金留保できている。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況